

# デジタルHD ビデオカセットレコーダー

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**HDV**  
HDV 1080i

**DVCAM**™

**DV** Digital  
Video  
Cassette

Mini **DV** Digital  
Video  
Cassette

## HVR-M15J

# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

5～7ページの注意事項をよくお読みください。

## 定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

## 故障したら使わない

すぐにソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店に修理をご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

本機はコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは

- ➡
- ① 電源を切る。
  - ② 電源コードやACアダプター、接続コードを抜く。
  - ③ ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店に連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電



破裂



高温



注意



指挟み

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



指示

# 目次

|                                                                                            |   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|
|  警告 ..... | 5 |
|  注意 ..... | 5 |
| 電池についての安全上のご注意 .....                                                                       | 7 |

## 第1章

### 概要

|                  |    |
|------------------|----|
| 本機の特長 .....      | 8  |
| 各部の名称と働き .....   | 10 |
| 前面パネル .....      | 10 |
| 後面パネル .....      | 15 |
| 付属リモコン .....     | 18 |
| 文字情報表示について ..... | 20 |

## 第2章

### 再生・記録

|                     |    |
|---------------------|----|
| 電源・カセットについて .....   | 22 |
| 電源を準備する .....       | 23 |
| カセットを入れる／取り出す ..... | 23 |
| 再生／録画時のご注意 .....    | 24 |
| 縦置きで使う .....        | 25 |
| 再生する .....          | 26 |
| 接続する .....          | 26 |
| 準備する .....          | 28 |
| 再生する .....          | 28 |
| 再生機能 .....          | 29 |
| レコーダーとして使う .....    | 32 |
| 接続する .....          | 32 |
| 準備する .....          | 34 |
| 記録する .....          | 35 |
| 記録機能 .....          | 36 |

## 第3章

### ダビング・編集

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 他の機器へダビングする .....     | 37 |
| 接続する .....            | 37 |
| ダビングする .....          | 40 |
| 編集する（パソコンと接続する） ..... | 41 |
| 接続する .....            | 41 |
| 準備する .....            | 42 |

## 第4章

### メニューで行う調整 と設定

|               |    |
|---------------|----|
| メニューの操作 ..... | 43 |
| メニューの構成 ..... | 44 |
| メニューの項目 ..... | 45 |

## 第5章

### 保守・点検

|                      |    |
|----------------------|----|
| 困ったときは .....         | 54 |
| 警告表示とお知らせメッセージ ..... | 59 |
| 本機の性能を保持するために .....  | 61 |
| VTRについて .....        | 61 |
| ヘッドのクリーニング .....     | 61 |
| カセットについて .....       | 62 |
| 結露について .....         | 63 |
| デジタル時計による定期点検 .....  | 63 |
| 内蔵の充電式電池について .....   | 64 |
| 海外で使う .....          | 64 |
| ライセンスに関する注意 .....    | 64 |

## 付録

|                              |    |
|------------------------------|----|
| HDV/DVCAM/DVフォーマットの互換性 ..... | 65 |
| i.LINK (アイリンク) について .....    | 70 |
| 保証書とアフターサービス .....           | 71 |
| 仕様 .....                     | 71 |
| 索引 .....                     | 74 |
| サブメニュー索引 .....               | 75 |



下記の注意を守らないと、  
**火災や感電により死亡や大けがに**  
つながることがあります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。



禁止

### 付属の電源コードや AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。



指示

### お手入れの際は電源コード、AC アダプターをはずす

電源コードを接続したままお手入れをすると、感電の原因となる場合があります。



禁止

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所で設置・使用すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



分解禁止

### 分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理はソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



禁止

### 雷が鳴っているときは使用しない

落雷すると、感電のおそれがあります。雷が鳴りだしたらすぐに使用を中止してください。



下記の注意を守らないと、  
**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与える  
ことがあります。



ぬれ手禁止

### ぬれた手で AC アダプターにさわらない

感電の原因となる場合があります。



禁止

### 本体や AC アダプターを布団などでおおった状態で使用しない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置かないでください。過熱して火災や感電の原因になる場合があります。



禁止

### 付属のリモコンには指定以外の乾電池を使わない

火災やけがの原因となる場合があります。



禁止

### 通電中の AC アダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚にふれたままになっていると、低温やけどの原因となる場合があります。



禁止

### 大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



注意

### 大音量に注意する

以下の場合に、大きな音が出て、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 接続ケーブルを抜き差しするとき
- 電源を入れるとき

音声レベルには充分注意して、上記の場合には一時的に音声レベルを下げたうえで行ってください。



禁止

### 膝に乗せて使用しない

膝の上で使用すると、落下してけがの原因となることがあります。



禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、倒れたり落下したりして、けがの原因となることがあります。

また、設置場所の強度を充分にお確かめください。



指示

### 幼児の手の届かないところに置く

カセットの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようご注意ください。



禁止

### 製品の上に乗らない、重い物を載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



指挟み

### カセットの挿入時に指をはさまない

カセットを挿入した後、カセット挿入口に指をはさむとけがの原因となることがあります。



指示

### コード類を正しく配置する

電源コードや接続ケーブルを足にひっかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



指示

### 長時間使わないときは、電源コードをはずす

長時間使用しないときは安全のため電源コードをはずしてください。

## 電池についての安全上のご注意

ここでは、本機に付属のリモコン（RMT-DS5）で使用が可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

### 万一、異常が起きたら

煙が出たら

- ➡ ① 電池を抜く。  
② ソニーのお問い合わせ窓口  
に連絡する。

電池の液が目に入ったら

- ➡ すぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。

電池の液が皮膚や衣服に付いたら

- ➡ すぐきれいな水で洗い流す。

バッテリー収納部内で液が漏れたら

- ➡ よくふきとってから、新しい電池を入れる。



注意

下記の注意事項を守らないと、  
破裂・液漏れにより、けがをした  
り周辺の物品に損害を与えることがあります。



破裂

- 使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。



警告

下記の注意事項を守らないと、  
破裂・液漏れにより、死亡や大  
けがにつながる場合があります。



高温

- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



破裂

## 概要

### 本機の特長

HVR-M15Jは、HDVフォーマットとDVCAM/DVフォーマットを採用したデジタルHDビデオカセットレコーダーです。映像信号を色信号と輝度信号に分け（コンポーネント方式）、デジタル処理を行うことにより、安定した高画質を実現しています。

i.LINK (i: HDV/DV)、COMPONENT出力、S映像入／出力、コンポジット入／出力、音声入／出力の端子を装備し、ノンリニア編集機など周辺機器との接続が可能です。以下に、本機的主要な特長を紹介します。

#### HDVフォーマットを採用

DVCAMフォーマットカセットまたはDVフォーマットカセットにデジタルハイディフィニション（HD）の映像の録画・再生ができます。

HDV映像信号の圧縮方法は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクで採用されているMPEG2方式です。

本機では、HDVフォーマットの中で、有効走査線数1080本のインターレース方式（HDV1080/60i方式、およびHDV1080/50i方式、画素数1440×1080ドット）を採用しています。記録時の映像ビットレートは約25 Mbpsです。デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDVに対応するテレビやパソコンとのデジタル接続が可能です。

#### DVCAM/DVフォーマットを採用

DVCAMは、4:1:1（60i方式）/4:2:0（50i方式）コンポーネントデジタル方式の家庭用DVフォーマットをベースにソニーが開発した、業務用の1/4インチデジタル記録フォーマットです。

本機では、DVCAMとDVフォーマットのSPモードで記録・再生ができます。

◆ 詳しくは65ページの「HDV/DVCAM/DVフォーマットの互換性」をご覧ください。

#### 1080/60i（NTSC）、1080/50i（PAL）両方式に対応

本機は、60i/50iの両方式に対応しています。これらの入力信号は、メニュー設定で切り換えることができます（53ページ）。VTRを接続しての記録・再生はもちろん、パソコンなどで編集した信号をダウンロードする場合、また、本機からパソコンへアップロードする場合にも、60i/50iのどちらの方式にも対応できます。ただし、フォーマットコンバートには対応していません。

本機では、60iはフィールド周波数59.94 Hzを表します。



## 高性能ダウンコンバート機能

HDVフォーマットで録画したテープを再生するとき、ダウンコンバートして映像を出力することができますので、デジタルハイディフィニション (HD) に対応していないディスプレイでのプレビューが可能になります。またアスペクト比もスクイーズ、レターボックス (i HDV/DV端子出力を除く)、エッジクロップ (サイドカット) から選択できます。

## 豊富な入／出力端子

i HDV/DV端子、COMPONENT端子 (出力のみ)、S VIDEO端子、VIDEO端子およびAUDIO端子を装備し、様々な機器との接続を可能にします。

## JOG AUDIO機能

DSRM-10 (別売) を使用すると、ジョグ／シャトルモードによるサーチ時に、音声をモニターすることができます。  
(HDVフォーマットで記録されたテープではジョグ音声は出力できません。)

## 言語設定

本機は、画面上に表示される言語を選択することができます。  
お買い上げ時は英語で表示される設定になっています。  
◆ 表示する言語を変えるときは、52ページをご覧ください。

## 縦置き可能なコンパクトサイズ

本機は縦置きを可能にしたコンパクトサイズを実現、場所をとらずに設置できます。ノンリニア編集時は、パソコンの隣りに縦置きすることにより、より小さなスペースで編集作業を行うことができます。

## メンテナンスを容易にする諸機能

- **自己診断／警告表示機能**: 操作や接続の誤り、動作異常などを自動的に検出し、これらの内容、原因、対策を COMPONENT OUT端子、S VIDEO端子、VIDEO端子に出力します。
- **デジタル時間計**: 通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、テープスレディング／アンスレディング回数の4種類の累積値を算出し、メニュー内に表示します。

これらはソニー株式会社の登録商標です。

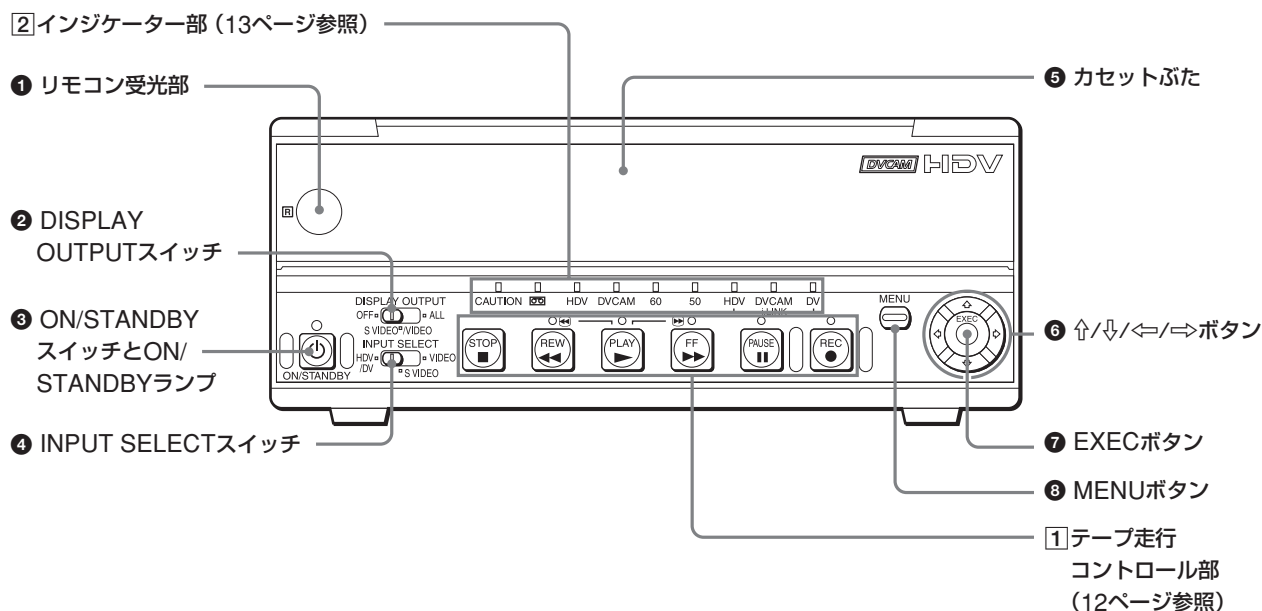


**HDV** はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。

その他、本書で登場するシステム名および製品名は、各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文では™、®マークは明記していません。

# 各部の名称と働き

## 前面パネル



### ① リモコン受光部

**② DISPLAY OUTPUT (文字情報表示切り換え) スイッチ**  
OUTPUT端子に文字情報をスーパーインポーズする出力先を選択します。

OFF : 出力されません。

S VIDEO/VIDEO : OUTPUT端子のS VIDEO端子、  
VIDEO端子に文字情報をスーパーインポーズします。

ALL : OUTPUT端子のCOMPONENT OUT端子、S VIDEO  
端子、およびVIDEO端子に文字情報をスーパーインポーズ  
します。

### ③ ON/STANDBY (オン/スタンバイ) スイッチとON/ STANDBY (オン/スタンバイ) ランプ

押すと本機の電源が入り、ON/STANDBYランプが緑色に点灯  
します。もう一度押すと、本機はスタンバイモードになり、ランプが赤  
色に点灯します。

### ④ INPUT SELECT (入力選択) スイッチ

本機後面パネルの、HDV/DV、S VIDEO、VIDEO端子からの入  
力を切り換えます。

HDV/DV : HDV/DV端子からの入力信号が選択されます。

S VIDEO : INPUT端子のS VIDEO端子からの入力信号が選  
択されます。

VIDEO : INPUT端子のVIDEO端子からの入力信号が選択  
されます。

### ご注意

- 記録中は切り換えないでください。記録中に切り換えた瞬間に画  
像と音声にノイズが出ることがあります。その部分は正常に記録さ  
れません。また、タイムコードが不連続になる場合があります。
- 記録中にスイッチを切り換えると、HDV/DV端子からの出力信  
号が途切れることがあります。また、著作権などの情報を誤って  
検出する可能性があります。
- HDV/DV入力時は以下の映像、音声に関する各種の設定は無  
効になります。
  - 60i/50i SEL
  - AUDIO MODE
  - AUDIO LOCK
  - AUDIO AGC
  - AUDIO REC LV

## ⑤ カセットぶた

カセットを出し入れするときに開けます。

- ◆ 使用できるカセットについて詳しくは、「電源・カセットについて」(22ページ)をご覧ください。
- ◆ カセットの取り出しについて詳しくは、24ページをご覧ください。

## ⑥ 上/下/左/右ボタン

メニュー項目などを設定するときに使います。

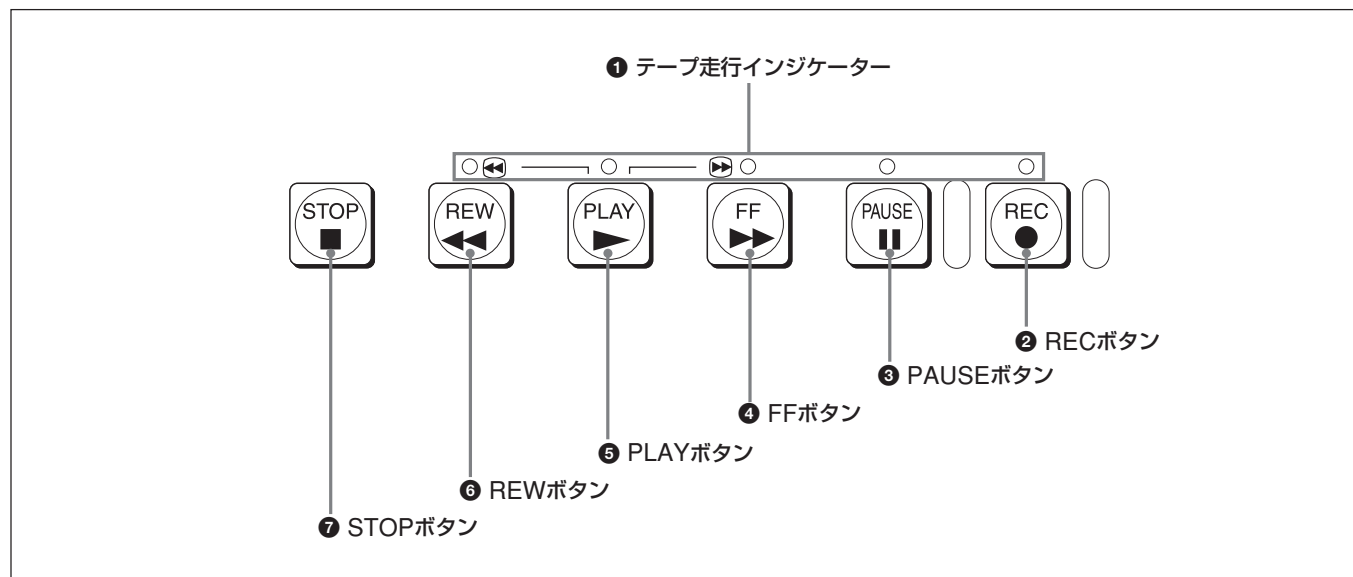
## ⑦ EXEC (実行) ボタン

メニュー項目などを設定するときに使います。

## ⑧ MENU (メニュー) ボタン

押すとメニューが表示されます。

## 1 テープ走行コントロール部



## ① テープ走行インジケータ

## ② REC (記録) ボタン

このボタンを押したままPLAYボタンを押すと、RECボタンとPLAYボタンのインジケータが点灯し、記録が始まります。停止状態のときにこのボタンのみを押すと、一時的に画像、音声のEE信号を確認することができます。i HDV/DV端子選択時に、[TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]が[EXTERNAL]に設定されていれば、タイムコードのEE信号も確認することができます。確認を終了するにはSTOPボタンを押します。

- ◆ 詳しくは、「IN/OUT REC」メニューの「EE/PB SEL」(47ページ)をご覧ください。
- ◆ タイムコードについて詳しくは、「TC/UB SET」(51ページ)をご覧ください。

## ご注意

- 本機は、民生用DVフォーマットのLPモードの記録には対応していません。SPモードの記録のみ対応しています。
- リモートコントロールユニットDSRM-10 (別売) を使って本機を記録一時停止状態にする場合は、DSRM-10のPLAYボタンを押したままPAUSEボタンを押して本機を再生一時停止状態にしてから、RECボタンを押してください。
- 記録モードがHDVの場合は、記録開始まで数秒かかることがあります。この間、RECインジケータが点滅します。

## ③ PAUSE (一時停止) ボタン

記録中、再生中にPAUSEボタンを押すと、インジケータが点灯し、各動作が一時停止状態になります。もう1度押すと、各動作を再開します。

## ④ FF (早送り) ボタン

押すとインジケータが点灯し、テープを早送りします。早送中、テープの映像はモニター画面に現れません (EE画<sup>1)</sup>は出力されません)。早送中、再生中および再生一時停止状態でFF (早送り) ボタンを押したままにすると、早送り再生になります。

## ご注意

- [IN/OUT REC]メニューの[EE/PB SEL]を[PB]に設定すると、EE画、EE音は出力されません。
- [VTR SET]メニューの[FF/REW SPEED]を[SHUTTLEMAX]に設定すると、早送り動作を常に早送り再生にすることができます。
- ◆ [SHUTTLE MAX]での走行速度については、「VTR SET」メニューの「FF/REW SPEED」(50ページ)をご覧ください。

## ⑤ PLAY (再生) ボタン

押すとインジケータが点灯し、再生が始まります。また、停止状態でREWボタンを押したままPLAYボタンを押すと、テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります (巻き戻し中、REWインジケータが点灯し、PLAYインジケータは点滅します)。

1) EE画：EEは「Electric to Electric」の略。VTRの記録回路に入力した映像・音声の信号を、テープや磁気変換回路を通さずに、電気回路のみを通して出力するモードをEEモードという。EE画はEEモードの出力画像のこと。

**で注意**

- HDVフォーマット、DVCAMフォーマットとDVフォーマットの記録の境目や60iフォーマットと50iフォーマットの境目を再生すると、その位置では映像および音声がかかります。
- 本機は、民生用DVフォーマットのLPモードの再生には対応していません。

**⑥ REW (巻き戻し) ボタン**

押すとインジケータが点灯し、テープを巻き戻します。巻き戻し中、テープの映像はモニター画面に現れません (EE画は出力されます)。巻き戻し中、再生中および再生一時停止状態でREWボタンを押したままにすると、巻き戻し再生になります。

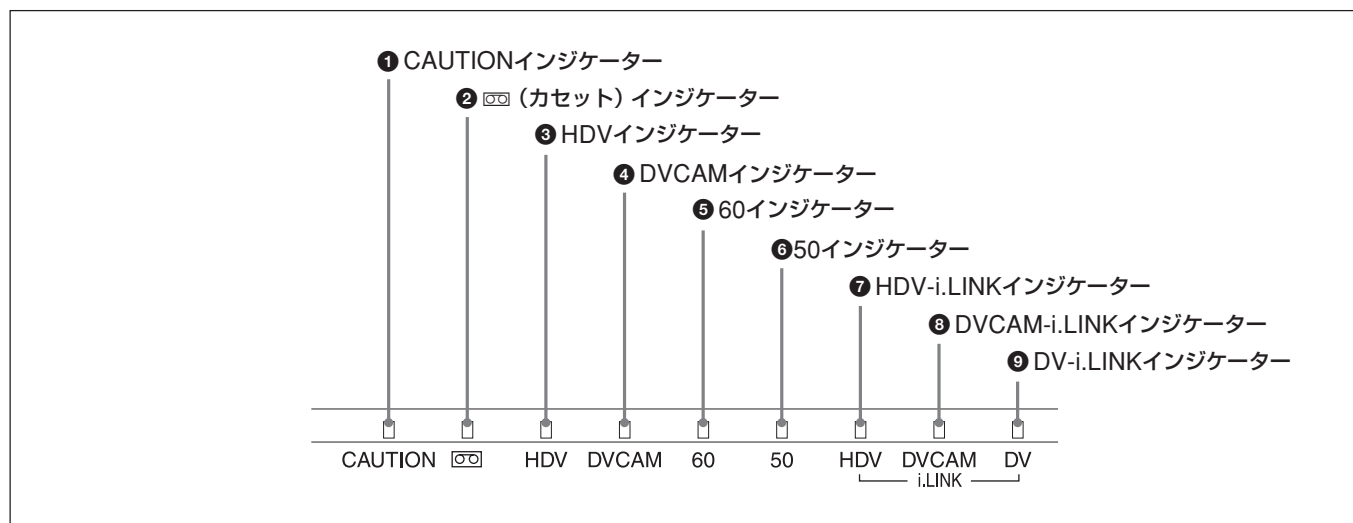
また、停止状態でREWボタンを押したままPLAYボタンを押すと、テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります (巻き戻し中、REWインジケータが点灯し、PLAYインジケータは点滅します)。

**で注意**

- [IN/OUT REC]メニューの[EE/PB SEL]を[PB]に設定すると、EE画、EE音は出力されません。
- [VTR SET]メニューの[FF/REW SPEED]を[SHUTTLEMAX]に設定すると、巻き戻し動作を常に巻き戻し再生にすることができます。
- ◆ [SHUTTLE MAX]での走行速度については、「VTR SET」メニューの「FF/REW SPEED」(50ページ)をご覧ください。

**⑦ STOP (停止) ボタン**

押すとテープ走行が停止します。

**2 インジケータ部****① CAUTION (警告) インジケータ**

エラーが発生した場合に点滅します。

- ◆ CAUTIONインジケータについて詳しくは、「自己診断表示・警告表示」(59ページ)をご覧ください。

**② (カセット) インジケータ**

デジタルビデオカセットが挿入されているときに点灯します。

スタンバイ状態でもカセットが入っていれば点灯します。カセット取り出し中は点滅します。

- ◆ 詳しくは「カセットを入れる／取り出す」(23ページ)をご覧ください。

**③ HDVインジケータ**

本機が以下の状態のときに点灯します。

- HDVフォーマットで記録されたテープを再生しているとき
- HDVフォーマットの信号をi.LINK入力しているとき
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[HDV]に設定しているとき\*

\*[HDV/DV SEL]が[AUTO]のときでも、現在入力信号がなく、直前に入力されていた信号や再生していたテープがHDVフォーマットであれば、インジケータが点灯します。

(続く)

### ④ DVCAMインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- DVCAM フォーマットで記録されたテープを再生しているとき
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]で[DV]を選択している状態で[REC MODE]を[DVCAM]に設定しているとき（記録時、EE時）\*

\*DVフォーマット（SPモード）で記録中およびDVフォーマット（SPモード）で記録されたテープを再生しているときは、HDVインジケータもDVCAMインジケータも点灯しません。

### ⑤ 60インジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- EE時または記録中で、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]の設定が60iになっているとき
- HDV1080/60i、またはNTSC方式の信号をi.LINK入力しているとき
- HDV1080/60i、またはNTSC方式の信号が記録されたテープを再生しているとき

### ⑥ 50インジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- EE時または記録中で、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]の設定が50iになっているとき
- HDV1080/50i、またはPAL方式の信号をi.LINK入力しているとき
- HDV1080/50i、またはPAL方式の信号が記録されたテープを再生しているとき

### ⑦ HDV-i.LINKインジケータ

HDVフォーマットの信号をi.LINK入出力しているときに点灯します。

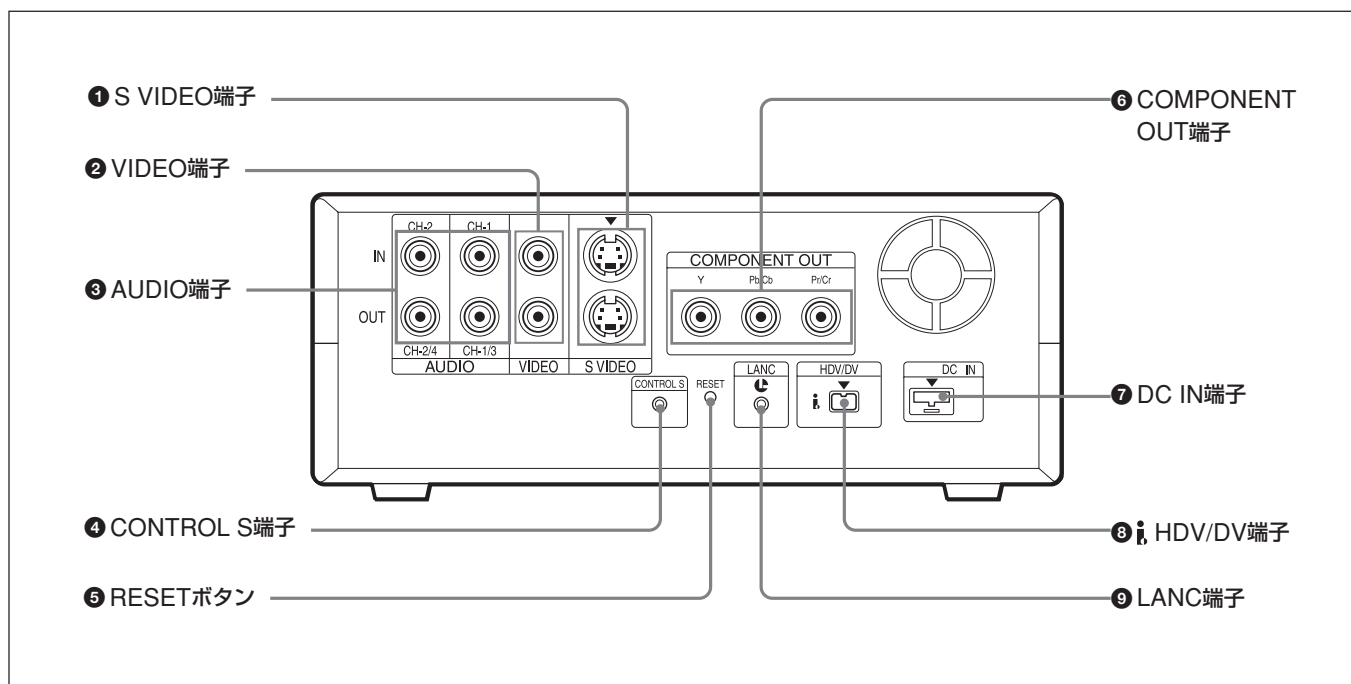
### ⑧ DVCAM-i.LINKインジケータ

DVCAMフォーマットの信号をi.LINK入出力しているときに点灯します。

### ⑨ DV-i.LINKインジケータ

DVフォーマットの信号をi.LINK入出力しているときに点灯します。

## 後面パネル



### ① S VIDEO (S映像) 端子

S映像端子のついた機器と接続するときは、本機側もS VIDEO端子と接続してください。VIDEO端子と接続したときよりも信号劣化の少ない高品質の映像を入／出力することができます。

前面パネルのDISPLAY OUTPUTスイッチをS VIDEO/VIDEOまたはALLに設定しているときは、S VIDEOのOUT端子に接続した外部モニターに、タイムコード、メニュー、警告表示などの文字情報がスーパーインポーズ表示されます (20 ページ)。

### ② VIDEO (映像) 端子

アナログ映像信号の入／出力を行います。

文字情報は、S VIDEO 端子と接続したときと同様にスーパーインポーズ表示されます (20 ページ)。

### ③ AUDIO (音声) 端子

アナログ音声信号の入／出力を行います。

[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]で[FS32K]を選択している場合、音声はチャンネル 1、2 に記録されます。

#### ご注意

- オーディオモードが FS32K (4 チャンネル) のときに、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MIX]で[MIX]を選択すると、各チャンネルからのAUDIO OUT出力レベルは 50% (−6 dB) になります。

- 最大音声レベル以上の音声が入力されると、音声はひずみます。
- ◆ 入力可能なレベルについては、本機の「仕様」(71 ページ) をご覧ください。

### ④ CONTROL S (コントロールS入力) 端子

リモートコントロールユニットDSRM-10 (別売) を接続して本機をコントロールできます。DSRM-20 (生産完了品：別売) もお使いいただけます。

#### ご注意

コントロール S 出力端子のある機器から本機を操作するときは、[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[CONTROL S]に合わせてください。

### ⑤ RESET (リセット) ボタン

ボールペンなどの先の細いもので押すと、以下の設定は初期化されます。

- ー [OTHERS]メニューの[CLOCK SET] (52 ページ) と [60i/50i SEL] (53 ページ)
- ー 本機のメニュー以外の設定

(続く)



**⑥ COMPONENT OUT (コンポーネント出力) 端子**

コンポーネント信号を出力します。コンポーネントビデオ入力端子のついた機器と接続するときは、本機のCOMPONENT OUT端子と接続してください。S VIDEO端子よりもさらに信号劣化の少ない高品質の映像を出力することができます。

出力される映像フォーマットは[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[COMPONENT]で設定を行います。

前面パネルのDISPLAY OUTPUTスイッチをALLに設定しているときは、COMPONENT OUT端子に接続したモニターにタイムコード、メニュー、警告表示などの文字情報がスーパーインポーズ表示されます(20ページ)。

**ご注意**

- [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[COMPONENT]で映像フォーマットの設定を変更すると、 HDV/DV端子、S VIDEO端子、VIDEO端子からの映像が一瞬乱れる場合があります。
- COMPONENT OUT端子からの出力レベルは、以下のとおりです。

480iNTSC出力時

[IN/OUT REC]メニューにて[BETACAM]選択時

Y: 1.0 Vp-p (0.286 Vp-p 負同期付き、75 Ω、不平衡)

Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y: 0.7 Vp-p (75 Ω、不平衡)

(7.5 IRE セットアップ付き 75% カラーバー時)

[IN/OUT REC]メニューにて[SMPTE]選択時

Y: 1.0 Vp-p (0.3 Vp-p 負同期付き、75 Ω、不平衡)

Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y: 0.7 Vp-p (75 Ω、不平衡)

(セットアップなし 100% カラーバー時)

その他の出力の場合

Y: 1.0 Vp-p (75 Ω、不平衡)

Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y: 0.7 Vp-p (75 Ω、不平衡)

(セットアップなし 100% カラーバー時)

480i/480pはYに0.3 Vp-p 負同期付き

1080iはY/Pb/Prに0.6 Vp-pの3値同期付き

- 著作権保護のための信号が記録されているHDVフォーマットのテープを再生した場合や著作権保護のための信号が重畳されたHDV信号が HDV/DV端子に入力された場合、本機のCOMPONENT OUT端子はメニューの設定にかかわらず、480i (NTSC)、もしくは576i (PAL) で映像を出力することがあります。
- DVCAM (DV) フォーマットテープの再生時、NTSC/PALフォーマットのEE画像を表示しているときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[COMPONENT]の設定にかかわらず、480i (NTSC) もしくは576i (PAL) の解像度で映像が出力されます。

**⑦ DC IN端子**

付属のACアダプターを使って、AC電源に接続します。

**⑧  HDV/DV端子 (4ピン)**

i.LINK (アイリンク) に準拠した HDV/DV端子です。接続する機器にi.LINK端子があるときに使います。記録時やダビング時、画像の取り込み時などに HDV/DV端子を使うと、画質劣化のほとんどないデジタル信号での伝送ができます。

◆ 詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

**ご注意**

- パソコン、本機にi.LINKケーブルをつなぐとき、端子の向きを確認してください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。i.LINKケーブルプラグの▲マークと HDV/DV端子の▼マークの向きを合わせて差し込んでください。
- この端子はHDV (1080i) / DVCAM / DV信号のみ対応しています。  
◆ 詳しくは「i.LINK (アイリンク) について」(70ページ) をご覧ください。
-  HDV/DV端子に入力した映像信号を、OUTPUT端子のVIDEO端子およびS VIDEO端子に出力した場合、EE画の映像同期信号とバースト信号は同期していません。
- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINKケーブルで接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままi.LINKケーブルを抜き差しすると、機器のi.LINK端子から出力している高圧電流 (8～40 V) が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- 6ピン型のi.LINK端子を持つ機器と本機を接続する場合は、6ピン型のi.LINK端子から先に接続してください。
- 本機の HDV/DV端子に入力された映像信号は、i.LINK伝送信号のジッター (周波数の揺れ) がそのままCOMPONENT OUT端子、S VIDEO端子、VIDEO端子に出力されます。接続したモニターにこの揺れが表示される場合があります。  
上記端子に他のVTRを接続して記録する場合はご注意ください。  
本機でテープに記録する場合は、画像に問題はありません。
- [IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[DOWN CONVERT]の設定を変更すると、COMPONENT OUT端子、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子の映像信号が一瞬乱れる場合があります。



## ⑨ LANC (ランク) 端子

LANC<sup>1)</sup> 端子を持つ外部機器から本機のテープ走行などをコントロールするときに、この端子に接続します。

### ご注意

- 本機のLANC端子は「LANC-S」機能にのみ対応しています。「LANC-M」機能は搭載していません。「LANC-S」の状態の機器とは接続できません。誤動作することがあります。
  - 本機をプレーヤーとして使用する場合は、レコーダーのLANC切り換えをM側に合わせてください。M/Sの切り換えがないレコーダーでは、本機をコントロールすることはできません。
  - 本機を接続する「LANC-M」機能付きの機器にSHUTTLE A/Bの切り換えがある場合、HDV記録テープを扱うときはSHUTTLE A、DVCAM/DV (SPモード) で記録されたテープを扱うときは、SHUTTLE Bに設定することをおすすめします。
  - LANC端子を通じて伝送される情報には、再生・停止・一時停止などの操作命令や、タイムコードやテープカウンター、機器の状態などのデータがあります。
  - コントロールL (CONTROL L) という表示の端子はLANC端子と同じ機能を持っています。
  - HDVフォーマットのテープを使用して編集する場合は、編集に制限を生じる場合があります。
- ◆ 42ページの「準備する」の「ご注意」もあわせてご覧ください。

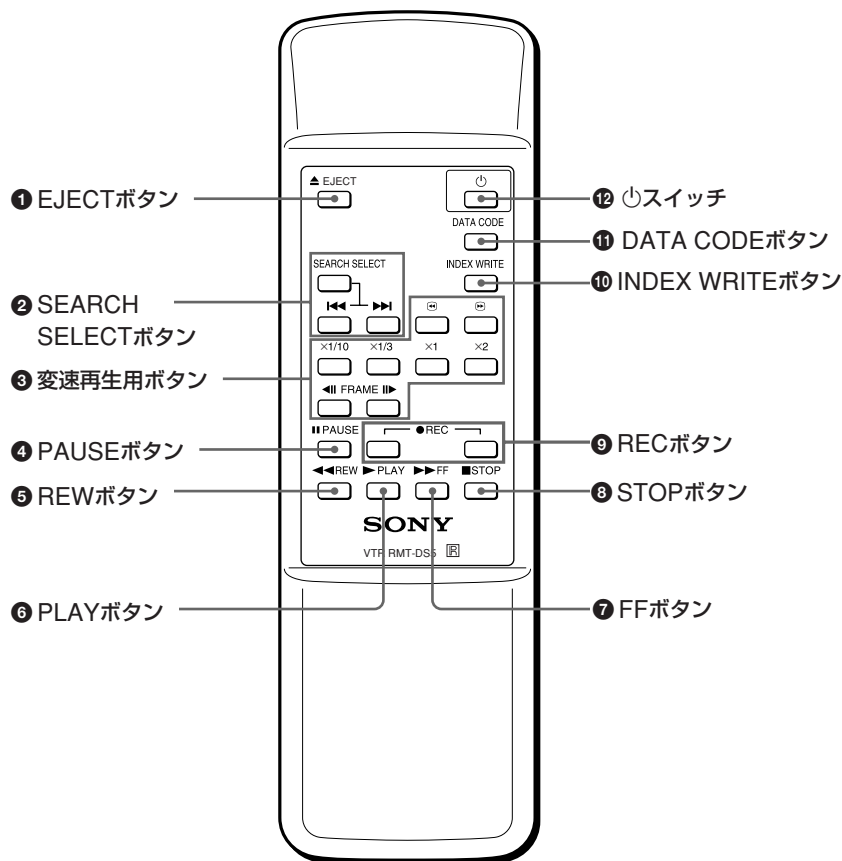
### 出力端子について共通のご注意

- 本機は標準ビデオ信号の入力のみに対応しています。以下のような映像信号を入力した場合には、記録される映像や音声は乱れることがあります。
  - ー 一部の家庭用ゲーム機の映像
  - ー 民生用VTRのブルーバック、グレーバック画面
  - ー TBC (タイムベースコレクター) を搭載していないVTRの変速再生中の映像
  - ー 同期信号が乱れている映像信号
  - ー テープおよび記録の状態が悪いカセットを、TBCを搭載していないアナログVTRで再生した映像
- 本機は、入力している映像信号のジッター (画面全体の揺れ) をアンダースキャン部で吸収します。アンダースキャンモニターでは、アンダースキャン部にこの処理が見える場合がありますが、故障ではありません。テープに記録される画像には問題はありません。
- VIDEO、S VIDEOのOUT端子、またはCOMPONENT OUT端子に文字情報を出力させたくない場合は、前面パネルのDISPLAY OUTPUTスイッチをOFFにして画面表示を消してください。
- 記録時またはEE時、本機から出力される色信号のサブキャリアは水平同期信号と同期していません。接続するモニターによっては、色や水平同期信号が乱れることがあります。

1) LANC (Local Application Control bus system):

民生用VCRをコントロールするための双方向インターフェース

## 付属リモコン



### ① EJECT (カセット取り出し) ボタン

#### ご注意

本機ではカセットぶた5 (11ページ) の自動開閉は行いません。カセットが入っている状態でリモコンのEJECTボタンを使ってカセットを取り出す場合は、あらかじめカセットぶたを開けてからこのボタンを押してください。

### ② SEARCH SELECT (サーチ選択) ボタン

場面を頭出しするときに押します。

◆ 頭出しについて詳しくは、「頭出しする」(30ページ) をご覧ください。

### ③ 変速再生用ボタン

再生時に、いろいろな速さで画像を見られます。

◆ 変速再生について詳しくは、「変速再生する」(29ページ) をご覧ください。

### ④ PAUSE (一時停止) ボタン

### ⑤ REW (巻き戻し) ボタン

### ⑥ PLAY (再生) ボタン

### ⑦ FF (早送り) ボタン

### ⑧ STOP (停止) ボタン

### ⑨ REC (記録) ボタン

左右のボタンを同時に押すと、本体のRECインジケータとPLAYインジケータが点灯し、記録が始まります。

**⑩ INDEX WRITE (インデックス打ち込み) ボタン**

記録中にインデックスを打ち込みます。

- ◆ インデックスについて詳しくは、「インデックス信号を打ち込む」(36ページ)をご覧ください。

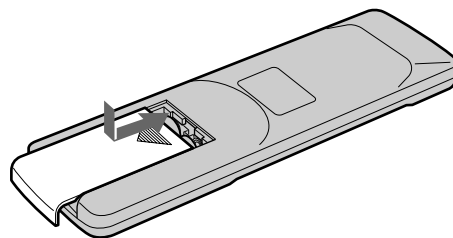
**⑪ DATA CODE (データコード) ボタン**

データコード (日付情報、カメラデータ) を表示します。

- ◆ データコードについて詳しくは、「テープに記録された情報 (データコード) の表示」(29ページ)をご覧ください。

**⑫ ㊤ (オン/スタンバイ) スイッチ****ご注意**

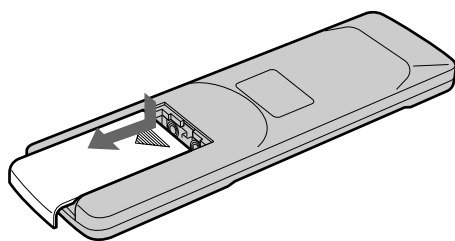
- 付属のリモコンのリモコンモードは[VTR4]に固定されています。
- 付属のリモコンを使うときは、[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[WIRELESS]に設定してください。
- 付属のリモコンだけでなく、ソニー製のリモコン (リモコンモードまたはコマンドモードが[VTR4]に設定されているもの) が本機に向けて使用された場合、本機はリモコン操作に反応します。リモコンによる本機の操作をすべて無効にしたいときは、[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[CONTROL S]に設定してください。

**3 ふたを閉める。****乾電池についての安全上のご注意**

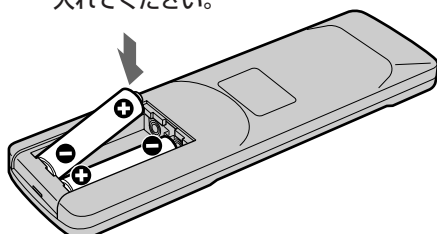
7ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

**電池を取り出すときは**

手順1のようにふたをはずし、電池を取り出してください。

**電池の入れかた****1 ふたをはずす。****2 ㊕と㊞の方向を確認して、単3形乾電池2個 (付属) を入れる。**

必ず㊞極側から電池を入れてください。



# 文字情報表示について

本機と接続した外部モニターに、各種文字情報をスーパーインポーズ表示することができます。

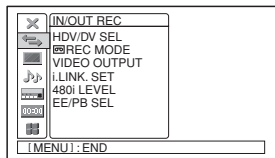
この取扱説明書では、画面などに表示される項目を英語で表記しています。本機ではお好みに合わせて、メニューの設定で表示言語を変更することができます。

◆ 詳しくは52ページをご覧ください。

## メニュー画面

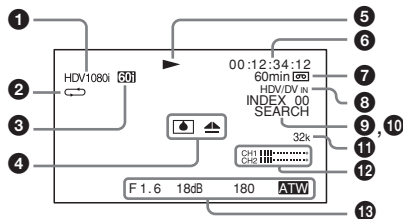
MENU ボタンを押すと表示されます。

◆ メニューについて詳しくは、「第4章 メニューで行う調整と設定」(43ページ)をご覧ください。



## データ表示画面

タイムコードやテープ残量など、通常の記録／再生時に必要な情報をモニターに表示させることができます。



### ① フォーマット表示

[HDV1080i]、[DVCAM]または[DV SP]が表示されます。

### ② リピート表示

[VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]を[ON]に設定しているときに表示されます。

### ③ 60i/50i表示

### ④ 警告表示

警告を表示します。

◆ 警告表示について詳しくは、「警告表示とお知らせメッセージ」(59ページ)をご覧ください。

### ⑤ 走行モード表示

テープの走行モードを表示します。

### ⑥ タイムコード表示

ドロップフレームの場合、分と秒の間がピリオドで表示されます(例:「00:12.58:00」)。

### 【ご注意】

タイムコードが記録されていないテープや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたテープを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

### ⑦ テープ残量表示

テープ残量を表示します。

◆ テープ残量表示について詳しくは、「REMAINING」(48ページ)をご覧ください。

### 【ご注意】

テープの頭まで巻き戻しているカセットを入れた直後は表示されません。しばらくテープを走行させるとテープ残量が表示されます。

### ⑧ INPUT SELECT表示

INPUT SELECT (入力選択) スイッチの位置に合わせて表示が変わります ([HDV/DV IN]、[S VIDEO IN]または[VIDEO IN])。

### ⑨ (インデックス) 表示

インデックスが打ち込まれたとき、[I]を表示します。

### ⑩ サーチ表示

付属のリモコンからサーチ (頭出し) を行った場合、サーチモードを表示します。

◆ サーチ (頭出し) について詳しくは、「頭出しする」(30ページ)をご覧ください。

## ⑪ オーディオモード表示

記録中は、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]で[FS32K]が選択されていた場合、32kが表示されます。

[FS48K]が選択されていた場合は、48kが表示されます。

再生時は、テープに記録されているオーディオモードを表示します。

i.LINK入力時は、 HDV/DV端子に入力されているオーディオモードを表示します。

### ご注意

- [IN/OUT REC]メニューで[HDV/DV SEL]の設定が[HDV]のときは、オーディオモードは表示されません。
- HDV/DVCAMのロックモード以外の信号はノンスタンダードオーディオとなり、再生時または HDV/DV端子から入力されたときは、NS32k/NS48kが表示されます。

## ⑫ オーディオレベルメーター

- ◆ オーディオレベルメーターに表示される内容については、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MIX] (49ページ) をご覧ください。

## ⑬ 日付情報・カメラデータ表示

リモコンのDATA CODE ボタンを押す、または[DISPLAY SET]メニューの[DATA CODE]で[DATE]か[CAMERA DATA]を選択すると、撮影時の日付情報とカメラデータを切り換えて表示することができます。

- ◆ 日付情報・カメラデータについて詳細は「テープに記録された情報（データコード）の表示」 (29ページ) をご覧ください。

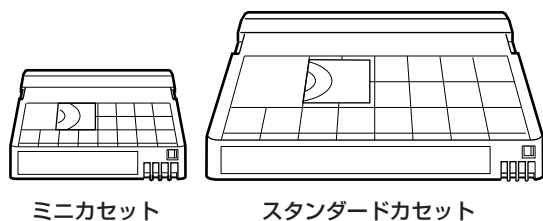
# 再生・記録

## 電源・カセットについて

### 使用できるカセット

HDV/DVフォーマットで記録するときは、スタンダード HDV/DVCAM/DV カセット (PHDV-276DM など)、またはミニ HDV/DVCAM/DV カセット (PHDVM-63DM) のデジタルマスターカセットのご使用をおすすめします。

DVCAMフォーマットで記録するときは、スタンダード DVCAM カセット、ミニ DVCAM カセット、または 上記のデジタルマスターカセットのご使用をおすすめします。



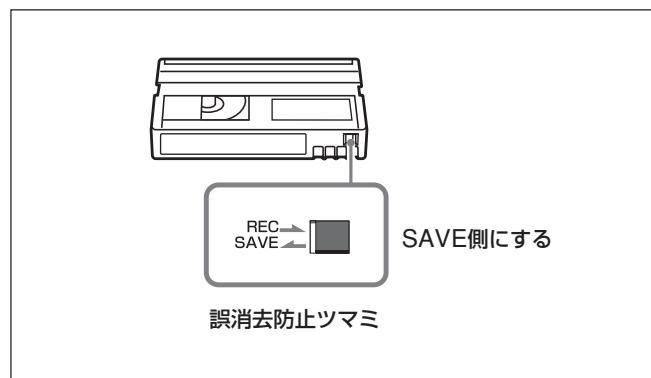
### カセットメモリー

ミニカセットおよびスタンダードカセットには、カセットメモリー (CIIマーク) の付いているものがありますが、本機はカセットメモリーには対応していません。

ただし、DSR-25/45/50などを記録機として使用した場合、[AUTO] [CII]を選択したときに限り、カセットメモリーのデュプリケートにも対応します。

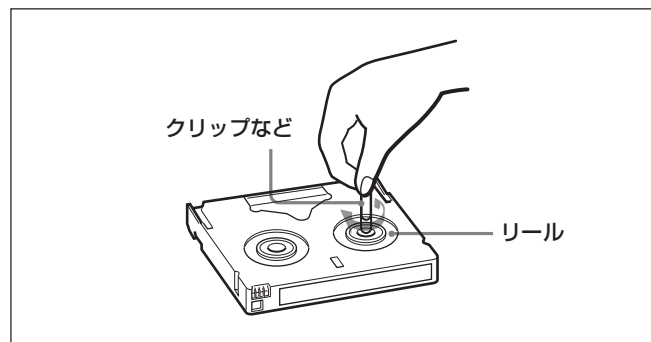
### 録画内容を消したくないときは

カセットの背にある誤消去防止ツマミを誤消去防止状態にします。再び録画するときは、ツマミを戻してください。



### テープにたるみがないことを確認するには

クリップなどでリールを矢印の方向へ軽く回します。テープにたるみがあればリールは回りません。

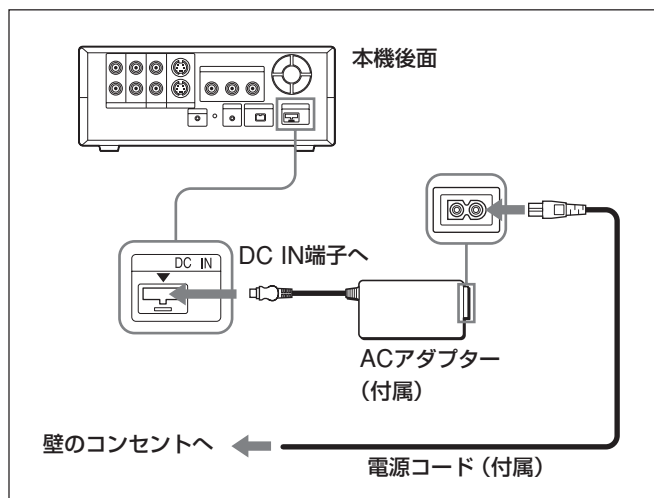


## 電源を準備する

電源コード（付属）をACアダプター（付属）に接続し、ACアダプターをDC IN端子に接続します。最後に電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。接続をはずすときは、最初に必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

### ご注意

- ACアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁とのすき間などの狭い場所に設置して使用しないでください。



初めて電源を入れたときは、[CLOCK SET]画面が表示されます。

◆ 設定のしかたは、52ページをご覧ください。

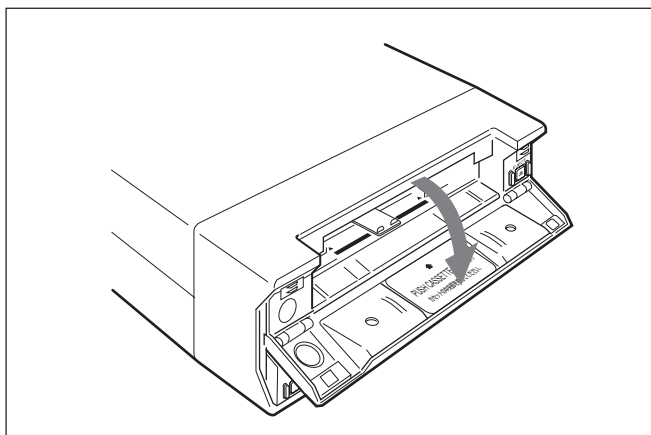
## カセットを入れる／取り出す

### カセットを入れるには

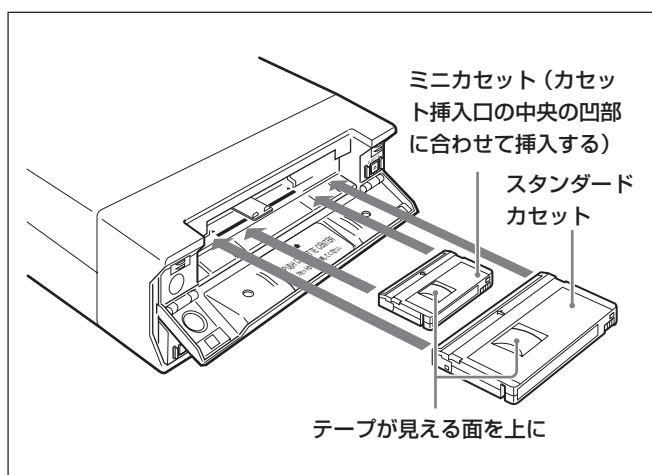
#### ご注意

- カセットを無理に押し込んで入れないでください。故障の原因になります。
- カセットの出し入れは本機の内部に光が当たらない場所で行ってください。本機を使用する時は、必ずカセットぶたを閉めてください。本機の内部に光が当たると内部のセンサーが誤動作する可能性があります。

- 1 本機に電源が入った状態で、 インジケーターが消灯していることを確認してからカセットぶたを下に開く。



- 2 テープにたるみのないことを確認してから、テープが見える面を上にしてカセットを入れる。  
カセットは自動的に引き込まれます。



#### ご注意

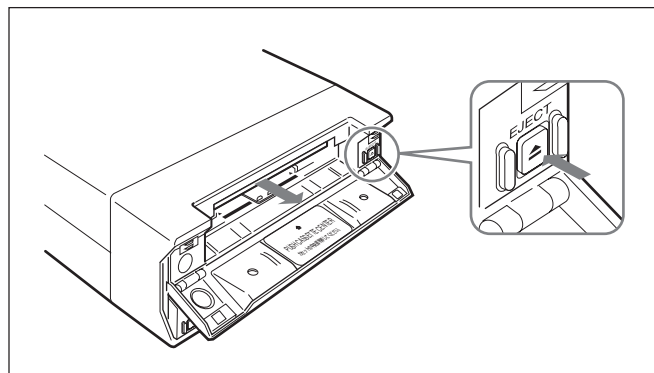
- カセットを挿入するときは、カセットの中央部を持って奥までしっかりと入れてください。カセットの端の部分を持って入れようとすると、正しい位置に入らないことがあります。
- カセットが挿入されないときや挿入途中で引っかかるときは、カセットを取り出して再度入れ直してください。カセットを取り出さずにそのまま無理に押し込むと、カセットが正しい位置に入らなかったり、故障の原因になったりします。
- カセットを挿入後、本機がカセットを認識し、現在のテープ位置情報を確認するための時間がかかります。

- 3 カセットぶたを閉める。



### カセットを取り出すには

- 1 本機の電源を入れ、カセットぶたを開いた状態で、カセット挿入口右側のEJECTボタンを押す。



カセットが取り出せる状態になります。

- 2 カセットを取り出し、カセットぶたを閉める。

### 再生／録画時のご注意

#### 録画内容の補償はできません。

万一、デジタルビデオカセットレコーダーやカセットなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

#### 著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

#### ●記録するとき

著作権保護のための信号が重畳されている信号は本機での記録、EE信号の出力が制限されることがあります。このような信号の映像・音声信号を本機で記録を始めると、モニター画面上に警告の表示が現れて停止します。

記録中にINPUT SELECTスイッチを切り換えないでください。著作権などの情報を誤って検出する可能性があります。

#### ●再生するとき

本機で再生されるソフトに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録や本機の出力が制限されることがあります。

### フォーマットによる制約について

本機は、HDV (1080/60i、1080/50i)、DVCAMフォーマットおよびDVフォーマット (SPモード) での記録・再生ができます。しかし、DVフォーマットからDVCAMフォーマットへダビングされたテープなど、お使いになるテープの記録内容によっては、フォーマットの違いにより、再生・編集時、機能に制約を生じることがあります。

本機ではHDVフォーマットの1080/30F、1080/25F、1080/24F、720/25p、720/24p信号などの1080/60i、1080/50i以外の入出力、記録、テープの再生はできません。

本機ではHDV拡張フォーマットの4チャンネルオーディオ信号の入出力、記録、テープの再生はできません。

本機ではHDVフォーマットの720/30pで記録した画像を再生できますが、 HDV/DV端子から出力することはできません。

◆ 詳しくは、「HDV/DVCAM/DVフォーマットの互換性」(65ページ)をご覧ください。

HDV、DVCAMフォーマットとDVフォーマット (SPモード) が混在して記録されたテープを再生する場合、以下のような制限があります。

- フォーマットが切り替わった位置で画像が乱れたり、音声にノイズ音が出力される場合があります。
- テープの走行が安定するまで、一時的にテープ走行コントロール部のボタンがきかなくなる場合があります。

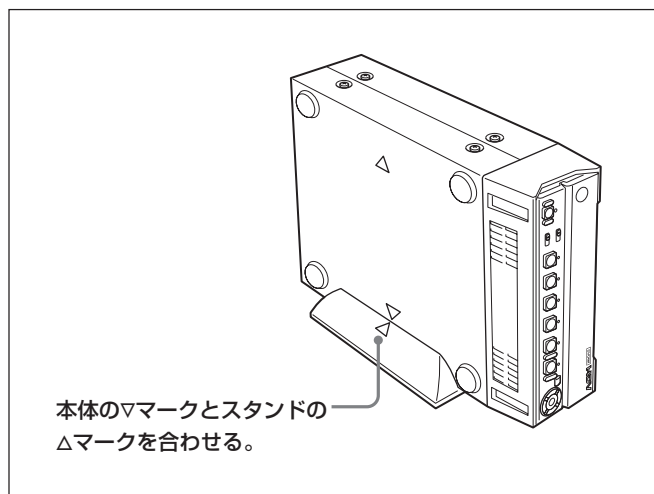
### 他機で再生するときのご注意

本機でHDVフォーマットで記録したテープは、HDVフォーマットの1080i方式に対応していない機器で再生することはできません。他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。



## 縦置きで使う

付属のスタンドを使って下図のように置きます。左右のどちらを下にしても置くことができます。



### ご注意

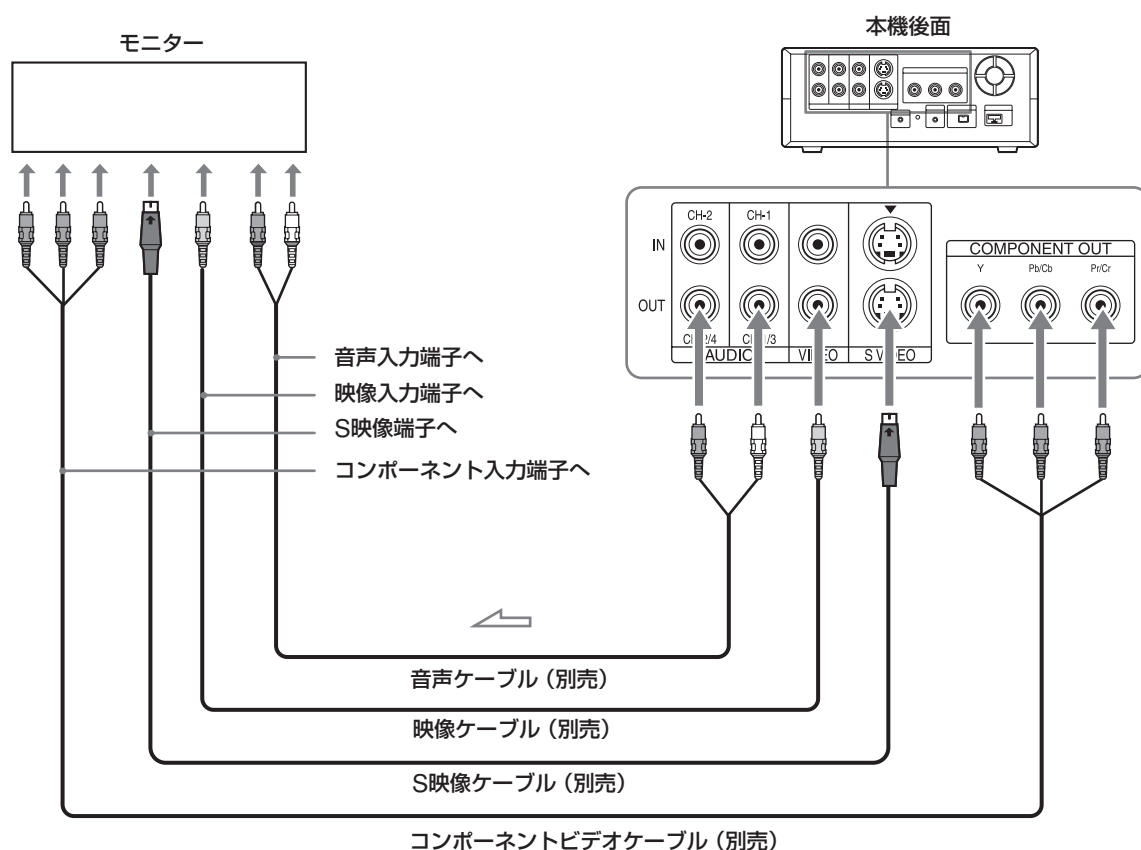
- 縦置きで本機を使用する場合には、必ず付属のスタンドの上に置いて使用してください。スタンドを使わずに縦置きで使用すると、倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因になる場合があります。
- 水平な場所に置いてください。
- カセットを入れるときは、カセットが本機内部に引き込まれるまで手を離さないでください。途中で手を離すと、カセットが落ちてテープを傷める原因となります。
- ◆ カセットの入れ方について詳しくは、「カセットを入れる／取り出す」(23ページ)をご覧ください。

本機で再生するときの接続や準備の方法、変速再生・頭出しなどの再生機能を説明します。

## 接続する

### i.LINK端子のないモニターとの接続

i.LINK端子のないモニターと接続する場合は、以下のように接続してください。



#### ご注意

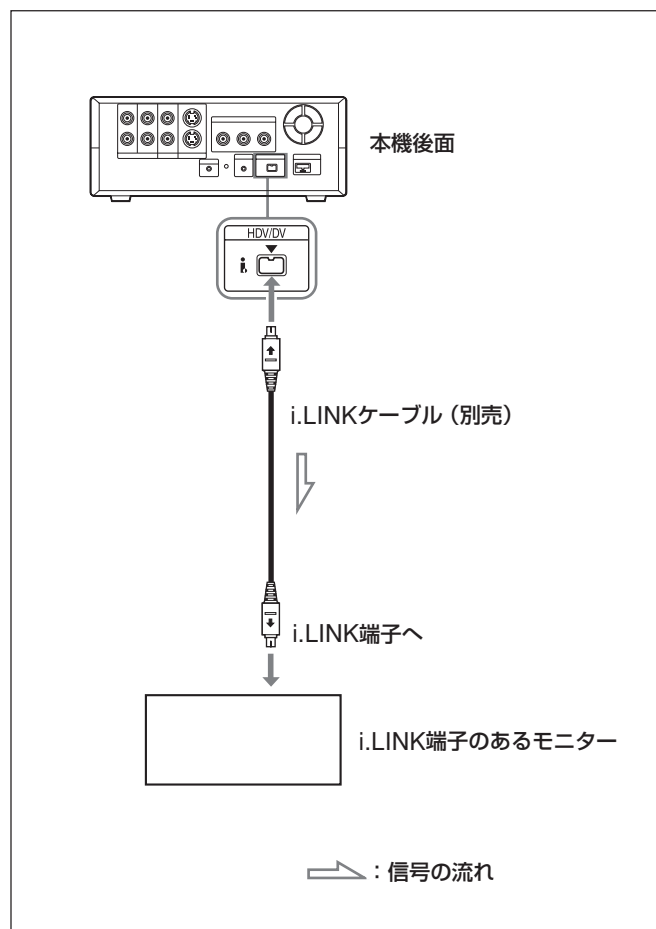
- コンポーネントビデオケーブルでモニターと接続する際、HDVの画像を再生するときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[COMPONENT]を、接続するモニターに合わせて設定してください (45ページ)。DVCAM (DV) フォーマットで記録したテープを再生するときは、[COMPONENT]の設定値にかかわらず、DVCAM (DV) フォーマット相当 (480i (NTSC) もしくは 576i (PAL)) の画像しか出力されません。

- COMPONENT OUT端子からの出力は本機の「仕様」(72ページ) をご覧ください。
- COMPONENT OUT端子の出力レベルを変更する場合は [IN/OUT REC]メニューの[480i LEVEL]をご覧ください (47ページ)。
- モニターの出力を本機の入力と接続すると、ブーンという音が出たり画像が乱れたりすることがあります。その場合は INPUT SELECTスイッチで入力されていない信号を選ぶか、接続をはずしてください。

- 著作権保護のための信号が記録されているHDVフォーマットのテープを再生した場合や著作権保護のための信号が重畳されたHDV信号が、HDV/DV端子に入力された場合、本機のCOMPONENT OUT端子はメニューの設定にかかわらず、480i、もしくは576iで映像を出力することがあります。
- 本機では、DVCAM (DV) フォーマットで記録した画像をHDVにアップコンバートして出力することはできません。

## i.LINK端子のあるモニターとの接続

HDV、DVCAM、DV対応のi.LINK端子を搭載しているモニターに接続すると、画質・音質の劣化がほとんどない再生ができます。



### ご注意

- i.LINKケーブルをつなぐ前に[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]が[AUTO]になっているか確認してください(お買い上げ時の設定)。i.LINKケーブルをつないでから設定を変えると、モニターが映像信号を正しく認識できないことがあります(45ページ)。
- i.LINK端子がついているモニターと接続するときは、本機を認識させるためにモニター側の設定が必要になることがあります。  
◆詳しくはモニターの取扱説明書をご覧ください。
- i.LINKケーブル接続時は、映像または音声のみを出力することはできません。
- モニターの出力を本機の入力と接続すると、ブーンという音が出たり画像が乱れたりすることがあります。その場合はINPUT SELECTスイッチで入力されていない信号を選ぶか、接続をはずしてください。
- i.LINKケーブルで接続するときは、モニターがHDVまたはDVに対応している必要があります。HDVで記録されたテープをDV対応モニターで再生するときは、i.LINKケーブルで接続する前に、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DVCAM]か[DV SP]に設定してください。  
◆詳しくはモニターの取扱説明書をご覧ください。
- 民生用のテレビには、i.LINKケーブルで接続した機器をコントロールする機能を搭載しているものがありますが、本機には対応しない場合があります。

### 準備する

#### 本機の準備

##### ご注意

- 本機のVIDEO、S VIDEOのOUT端子、またはCOMPONENT OUT端子からのビデオ出力には各種文字情報がスーパーインポーズされます。文字情報を出力したくない場合には、本機の前面パネルにあるDISPLAY OUTPUTスイッチをOFFにしてください（10ページ）。
- ◆文字情報について詳しくは、「文字情報表示について」（20ページ）をご覧ください。
- HDVフォーマットで記録したテープを4:3モニターに接続して見るときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]を希望のモードに設定してください（45ページ）。

**1** モニターの電源を入れて、接続した入力端子に合わせて、モニターの入力切り換えを行う。

**2** 本機の電源を入れる。

### 再生する

**1** カセットを入れて、（カセット）インジケータが点灯していることを確認してください。

**2** 本機のPLAYボタンを押す。

再生が始まります。

#### 再生を終了するには

本機のSTOPボタンを押します。

#### 再生を一時停止するには

本機のPAUSEボタンを押します。

##### ご注意

- HDV、DVCAMおよびDVの記録の境目を再生すると、その位置では映像および音声がかかります。
- 本機では、DV(LPモード)で記録した画像を再生することはできません。

- 60i方式と50i方式のビデオ信号が混在して記録されたテープを再生すると、方式が切り替わった位置では映像および音声がかかります。
- HDVで記録されたテープでは、一時停止中の映像は HDV/DV端子から出力されません。

## 再生機能

ここでは、再生時に便利な機能を説明します。

## テープに記録された情報（データコード）の表示

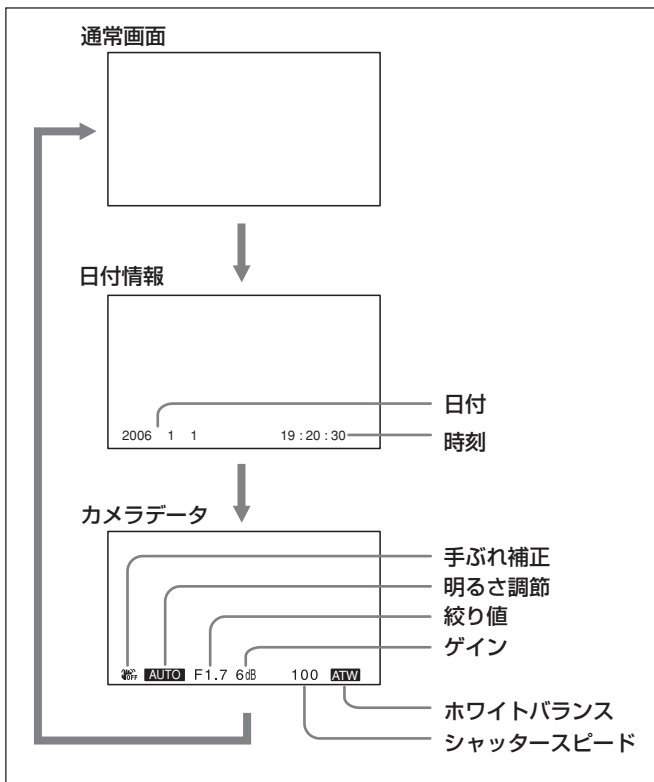
ソニー製のデジタルHDビデオカメラレコーダーや、デジタルカム  
コーダーを使用して撮影したテープには、撮影時の情報（データ  
コード）が記録されます。

データコードには日付情報(日付、時刻)とカメラデータ(シャッター  
スピード、手ぶれ補正、アイリス、ホワイトバランス、プログラムAE  
モード、ゲインなどの設定)があります。

本機では、再生中にこれらを表示して確認することができます。

付属リモコンのDATA CODEボタンを押すたびに、以下のように、データコード表示なし→日付情報表示→カメラデータ表示……の順に切り替わります。また、[DISPLAY SET]メニューの[DATA CODE]で[DATE]または[CAMERA DATA]を選択し、それぞれに切り換えることができます。

◆詳しくは、「DATA CODE」(47ページ)をご覧ください。



**ご注意**

- データコードが記録されていない場合は、画面に「---」が表示されます。
- 本機を使用してカメラデータを記録することはできません。

- 本機のカメラデータ表示は、デジタルカムコーダーやデジタルHDビデオカメラレコーダー側の表示と一部異なります。

変速再生する

付属のリモコンを使って、スローやコマ送り、倍速などの変速再生ができます。

### HDVフォーマットの場合

| ボタン               | 動作速度  | アナログ出力 |     | i.LINK出力 |     |
|-------------------|-------|--------|-----|----------|-----|
|                   |       | 正方向    | 逆方向 | 正方向      | 逆方向 |
| ×1/10             | 10分の1 | ◎      | — * | —        | — * |
| ×1/3              | 5分の1  | ◎      | — * | —        | — * |
| ×1                | 通常再生  | ◎      | ○   | ◎        | ○   |
| ×2                | 通常再生  | — *    | — * | — *      | — * |
| FRAME<br>◀   /  ▶ | コマ送り  | ◎      | — * | —        | — * |
| ◀▶/▶▶             | 8倍速   | ○      | ○   | ○        | ○   |

\* ×1と同じ出力となります。

◎：正常に再生される。

○：サーチ用の簡易画像が出力される。(画像は粗い)

一：再生されない。

### DVCAM (DV) フォーマットの場合

| 画像の動く速さ    | 操作方法                                                              |
|------------|-------------------------------------------------------------------|
| 10分の1（スロー） | 再生中に×1/10ボタンを押します。                                                |
| 3分の1（スロー）  | 再生中に×1/3ボタンを押します。                                                 |
| 通常の再生と同じ速さ | 再生中に×1ボタンを押します。                                                   |
| 2倍速        | 再生中に×2ボタンを押します。                                                   |
| コマ送り       | 再生一時停止状態でFRAME◀Ⅱ/Ⅲ▶ボタンを押します。正方向はⅢ▶、逆方向は◀Ⅱを押します。押し続けると連続してコマ送りします。 |
| 早送り再生      | 再生中または変速再生中に▶▶ボタンを押します。                                           |
| 巻き戻し再生     | 再生中または変速再生中に◀◀ボタンを押します。                                           |

## 再生の方向を変えるには

再生中または変速再生中に、FRAME ◀||/▶ ボタンを押します。  
正方向は ▶||、逆方向は ◀|| を押します。

(続く)

## で注意

- 他のソニー製機器（リモコンモードまたはコマンドモードがVTR4に設定されているもの）に向けて、本機の付属リモコンの×1/3ボタンを押すと、再生速度が1/5スローになる場合があります。
- DVCAM（DV）テープ再生時は、本機に向けて他のソニー製リモコン（リモコンモードまたはコマンドモードがVTR4に設定されているもの）の×1/5ボタンを押すと、再生速度が1/3スローになります。
- 本機で±1/10スロー再生が1分以上続くと、自動的に通常の再生（正方向）になります。

## 変速再生中に音声を聞くには

[AUDIO SET]メニューの[JOG AUDIO]を[ON]に設定します。

- ◆ [AUDIO SET]メニューについて詳しくは、[AUDIO SET] (49ページ)をご覧ください。

## で注意

HDVフォーマットで記録されたテープは変速再生の音声を聞くことができません。

## 頭出しする

本機ではテープ上に記録されている以下の信号の頭出しができます。

- 録画の開始位置を探す：インデックスサーチ
- 撮影日で探す：日付サーチ

頭出しの操作は、付属リモコンで行います。

- 1 付属リモコンのSEARCH SELECTボタンを押して、頭出しの種類を選ぶ。

インデックスサーチ→日付サーチ→（表示なし）の順で切り替わります。

### インデックスサーチを選んだ場合



（データ表示画面にのみ表示されます）

## 2 ◀◀/▶▶ ボタンを繰り返し押して、頭出しする場面を選ぶ。

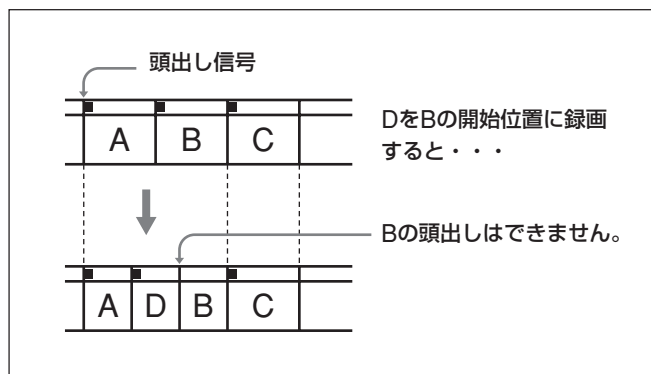
押した回数だけ先または前の場面が頭出しされます。いくつ先（前）の場面かが数字で表示されます。「0」になるまで巻き戻しまたは早送りされると、通常の再生になります。

## 頭出し信号について

頭出し信号には、インデックス信号、タイトル信号、日付信号、フォト信号の4種類がありますが、本機がテープに記録できるのは、インデックス信号と日付信号のみです。

## で注意

- 頭出し信号の開始位置の上に他の場面を録画した場合、元の画面の頭出し信号は消え、元の画面は頭出しできなくなります。



- 日付またはインデックスの間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭出しできないことがあります。
- 頭出し信号のみを後から付けることはできません。
- 本機はカセットメモリーへの頭出しデータの読み書きには対応していません。DSR-25/45/50などを用いたデュプリケート（複製）については、22ページをご覧ください。
- ソニー製以外のデジタルビデオ機器で記録されたテープでは、頭出しが行えないことがあります。

## オートリピート

本機ではテープ全体または一部分を自動的に繰り返し再生することができます。

**1** [VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]を[ON]に合わせる。

**2** REW（テープがすでにテープの頭まで巻き戻っている場合は、PLAY）ボタンを押す。

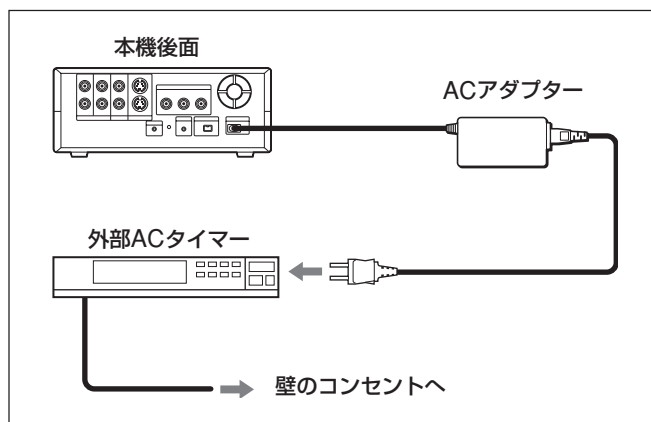
テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります。テープ上にある下記項目を検出すると、テープの頭まで巻き戻して再び再生が始まり、これを繰り返します。

- インデックス信号
- 未記録部分
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]が[AUTO]以外に設定され、選択した以外のフォーマットが含まれた部分
- テープエンド

### 外部ACタイマーを使ってオートリピートを開始するには

本機を外部ACタイマー（別売）に接続すると、設定した時刻からオートリピートが開始できます。

**1** 本機に外部ACタイマーを接続する。



**2** [VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]を[ON]に合わせる。

データ表示画面に が表示されます（20ページ）。

**3** 外部ACタイマーで開始時刻を合わせる。

開始時刻になると本機の電源が入り、数秒～数十秒後に自動的にオートリピートが始まります。テープ上にある下記項目を検出すると、テープの頭まで巻き戻して再び再生が始まり、これを繰り返します。

- インデックス信号
- 未記録部分
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]が[AUTO]以外に設定され、選択した以外のフォーマットが含まれた部分
- テープエンド

### ご注意

- 再生を開始してから20秒以内のインデックス信号および未記録部分は検出できません。
- テープ走行中は、ACタイマーを使って本機の電源を切らないでください。本機やテープの損傷の原因となることがあります。本機の電源を切るときは、必ず本機のSTOPボタンを押して、テープの走行を停止してから行ってください。
- デジタルノンリニア編集システムから記録したテープ、またはそのテープを元にデジタルダビングしたテープでは、デジタルノンリニア編集システムでご使用の編集ソフトウェアが、元からあるインデックス信号以外にもインデックス信号をテープに打ち込んでしまう場合があるため、正しくオートリピートしないことがあります。

### 途中でオートリピートを止めるには

本機のSTOPボタンを押します。

### オートリピートを解除するには

[VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]を[OFF]に合わせます。

# レコーダーとして使う

本機をレコーダーとして使うときに必要な接続と設定、記録の方法を説明します。本機をダビング用として使う場合も、必要な設定や操作は基本的に同じです。

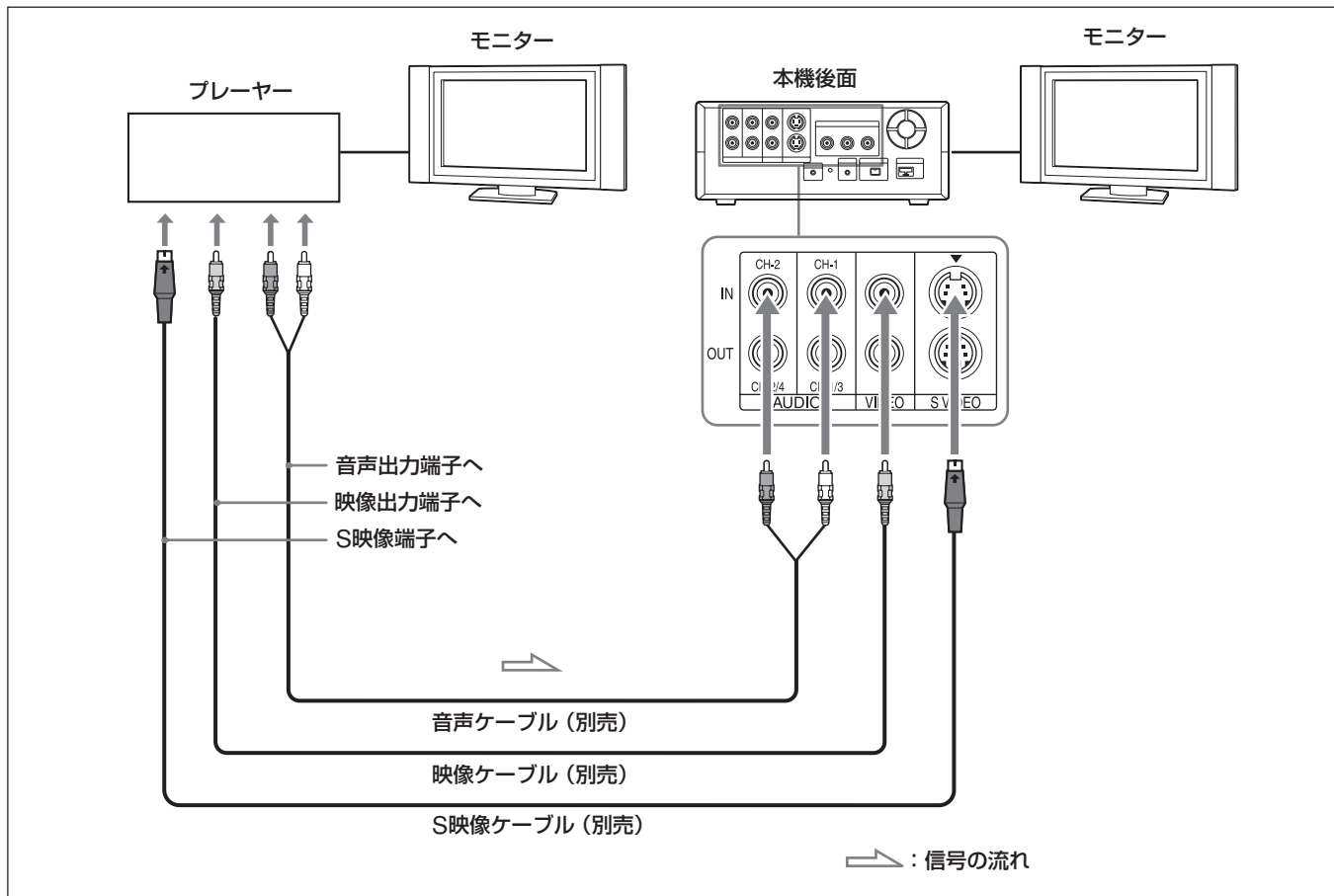
## ご注意

- 編集機との接続のしかたについては、編集機に付属の取扱説明書をご覧ください。また、接続時は使用する編集ソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 編集機能は編集ソフトウェアに依存します。実際の編集方法については、使用する編集ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。41、42 ページも合わせてご覧ください。

## 接続する

### i.LINK端子のない機器との接続

i.LINK 端子のない機器と接続して、本機をレコーダーとして使用する場合は、以下のように接続してください。



映像用のケーブルは、S映像ケーブルまたは映像ケーブルのどちらかを接続してください。

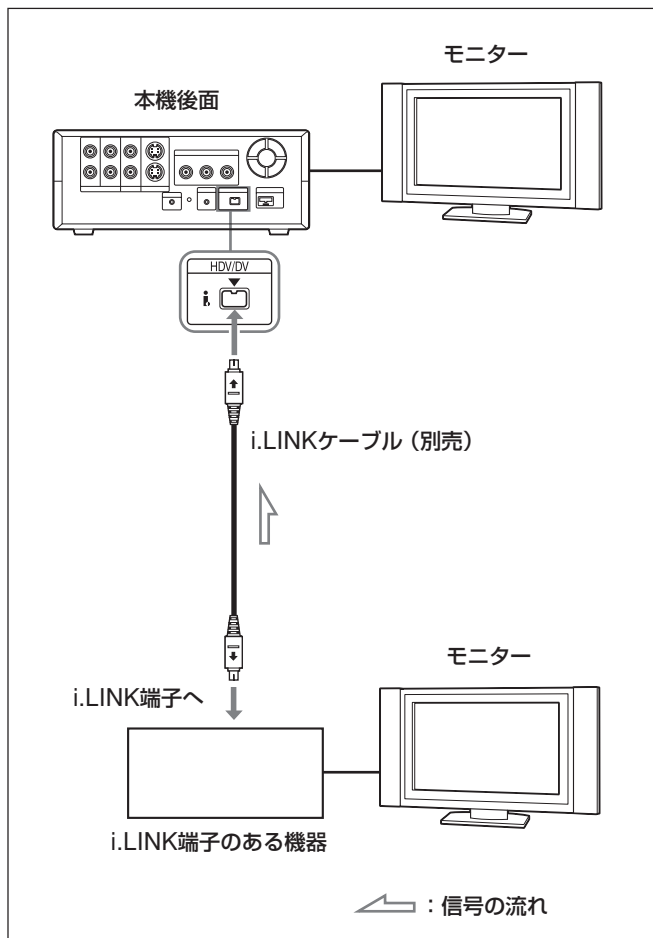


**で注意**

- 本機の出力をプレーヤーの入力と接続すると、ブーンという音が出たり画像が乱れたりすることがあります。その場合はINPUT SELECTスイッチで、入力されていない信号を選ぶか、または接続をはずしてください。
- 変速再生の映像やもともと乱れている映像は、記録されなかったり、画像が乱れたりすることがあります。
- HDV インジケーターが点灯した状態で、AUDIO IN 端子のみをつないだ場合、音声は入力されません。VIDEO IN 端子も同時につなぐか、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[DV]に設定してください。

**i.LINK端子のある機器との接続**

HDV (1080/60i、1080/50i)、DVCAM、DVフォーマットのi.LINK信号を記録する場合、画質・音質の劣化がほとんどない記録ができます。機器の状態によって信号の流れる方向を自動的に切り換えるため、入力／出力に応じてつなぎ直す必要がありません。

**で注意**

- HDV対応機器から録画するときは、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[AUTO]にしてください。DVCAM (DV) 対応機器から録画するときは、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[AUTO]または[DV]にしてから、i.LINKケーブルをつないでください (45ページ)。i.LINKケーブルをつないでから設定を変えると、他機が映像信号を正しく認識できないことがあります。
- デジタル放送などのコピー制限のある番組をi.LINK端子から入力することはできません。
- i.LINK端子を使ってつないだときは、レコーダー側の音声記録モードはプレーヤーと同じになります。レコーダーの音声記録モードを変えたいときは、32ページの「i.LINK端子のない機器との接続」にて行ってください。
- i.LINK端子を使ってつないだときは、ソーステープに記録されたデータコード (日付情報、カメラデータ) はそのままレコーダーに伝送されます。このため、記録されたテープを本機で再生しリモコンのDATA CODEボタンを押すと、ソーステープと同じデータコードが表示されます。
- i.LINK端子を使ってつないだ外部機器の映像が映らないときは、i.LINKケーブルを抜いて、もう一度まっすぐつなぎ直してください。
- DVCAM/DVのとき、再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。HDVのときは映像は記録されません。
- 映像または音声のみを記録することはできません。
- 一時停止または停止したあとで録画を再開すると、スムーズにつながりません。
- 6ピン型のi.LINK端子を持つ機器と本機を接続する場合は、6ピン型のi.LINK端子から先に接続してください。
- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINKケーブルで接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままi.LINKケーブルを抜き差しすると、機器のi.LINK端子から出力している高圧電流 (8～40 V) が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- モニターやプレーヤーの入力を本機の出力と接続すると、ブーンという音が出たり画像が乱れたりすることがあります。その場合はINPUT SELECTスイッチで入力されていない信号を選ぶか、接続をはずしてください。
- HDVフォーマットの1080i方式の信号以外のMPEG2の信号を録画することはできません。
- i.LINK端子から入力したHDVフォーマットの信号を記録すると、つなぎ目が約1秒間の静止画となります。

### 準備する

#### 本機（レコーダー）の準備

##### ご注意

- 記録を始める前に、[OTHERS]メニューの[CLOCK SET]で日付・時刻を合わせてください（52ページ）。日付・時刻を設定しないと、頭出し信号に日付情報が書き込まれません。
- 著作権保護のための信号が重畳されているテープや信号を使用すると、記録や操作に制限を受けることがあります。
- 記録中は、誤操作によってテープ走行状態が変わることを防ぐため、STOPボタンとPAUSEボタン以外のテープ走行コントロール部のボタンは働かないようになっています。

**1** モニターの電源を入れて、接続した入力端子に合わせて、モニターの入力切り換えを行う。

**2** プレーヤー側で再生の準備をする。  
◆ プレーヤーの操作について詳しくは、使用するプレーヤー機器の取扱説明書をご覧ください。

**3** 本機の電源を入れる。

**4** プレーヤーをIN端子につないだときは、入力する信号に合わせて、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]を設定する。

60i方式の信号を入力するときは60iに、50i方式の信号を入力するときは50iに切り換えます（53ページ）。

##### ご注意

- 記録中は、[60i/50i SEL]の設定を変えないでください。
- INPUT SELECTスイッチをS VIDEOもしくはVIDEOに設定しているとき、[60i/50i SEL]の設定と異なるカラーテレビ方式の信号を入力すると、画像はミュートされます。
- i.LINK入力する場合は、本機が自動的に入力信号のカラーテレビ方式を判別します。[60i/50i SEL]の設定を変える必要はありません。ただし、[60i/50i SEL]の設定が50iの場合は、記録時に内部で発生するタイムコードはノンドロップフレームモードになります。このため60i方式の信号をi.LINK入力している場合でも、[TC/UB SET]メニューの[TC FORMAT]の設定にかかわらず、内部で発生するタイムコードはノンドロップフレームモードになります。ドロップフレームモードで記録するときは、[60i/50i SEL]を60iにしてください。

**5** 本機のINPUT SELECTスイッチを切り換えて、入力信号を選択する。

HDV/DV :  HDV/DV端子からの入力信号を記録する場合  
S VIDEO : S VIDEOのIN端子からの入力信号を記録する場合

VIDEO : VIDEOのIN端子からの入力信号を記録する場合

記録したいフォーマットに合わせて[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]と REC MODE]（45ページ）を設定する必要があります。

◆ 記録テープのフォーマットの詳細については、68ページをご覧ください。

##### ご注意

記録中はINPUT SELECTスイッチを切り換えしないでください。記録中に切り換えると、録画が数秒間停止し、回路内部が切り替わってから録画を再開します。この間、画像は録画されません。

**6** INPUT SELECTスイッチをS VIDEOまたはVIDEOに設定している場合、オーディオモードを選択する。（ HDV/DV端子を使って記録する場合は、**6、7、8**をスキップしてください。）

INPUT SELECTスイッチでS VIDEOもしくはVIDEOを選択した場合、オーディオモードは、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]で設定します（48ページ）。

FS32K : オーディオモードを4チャンネルモードにする。

FS48K : オーディオモードを2チャンネルモードにする。

DV (SP) モードで記録するときには、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO LOCK]でオーディオロックモードを設定します（49ページ）。

##### ご注意

 HDV/DV端子から入力している場合、オーディオモードは入力される信号のオーディオモードと同じになります。

**7** [AUDIO SET]の[AUDIO AGC]で録音レベルの調整方法を切り換える。

#### ご注意

- i.HDV/DV端子を使って記録する場合には、録音レベルの調整はできません。
- i.LINK端子のない機器との接続では、オーディオモードが[FS32K] (4チャンネルモード) のときは、チャンネル1/2に記録されます。

**8** [AUDIO SET]の[AUDIO REC LV]で、録音レベルを調整する (48 ページ)。

手順7で、OFFを選んだ場合のみ調整します。

最大音量のとき、レベルが0 dBを超えないようにしてください。0 dBを超えると音がひずみます。

#### ご注意

- DVCAM/DV (SP) フォーマットでの記録時に、2チャンネル (FS48K) と4チャンネル (FS32K) の2種類のオーディオモードを選択することができます。これ以外のモード (例えば2チャンネル (FS32K)) を選択することはできません。
- 記録中は、オーディオモードの切り換えはできません。
- 記録後に音声ダビングをする場合は、音声ダビングに使用する機器の仕様に合わせて、[IN/OUT REC]メニューの[REC MODE]で[DVCAM]、もしくは[DV SP]を選択してください。あらかじめ[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]でオーディオモードを[FS32K] (4チャンネルモード) に設定してください (48ページ)。(本機は音声ダビングの機能を搭載していません。)

## 記録する

ここでは、他のVTRをプレーヤーとして、プレーヤーに入れたテープの再生信号を本機で記録する方法を説明します。i.HDV/DV端子を使ってパソコンと接続した場合の操作については、41ページの「編集する (パソコンと接続する)」をご覧ください。

**1** カセットを入れて、 (カセット) インジケーターが点灯していることを確認してください。

**2** プレーヤーの再生ボタンを押す。

プレーヤーが再生を開始します。

**3** 本機のRECボタンを押したままPLAYボタンを押す。

#### ご注意

HDVの画像を記録するとき、録画開始までに少し時間がかかりますが、故障ではありません。(録画開始までの間、データ画面の[STBY]の文字とRECインジケーターが点滅します。)

記録を終了するには

本機のSTOPボタンを押します。

記録を一時停止するには

本機のPAUSEボタンを押します。

#### ご注意

NTSCまたはPALの信号をアップコンバートしてHDVフォーマットで記録することはできません。

### 記録機能

#### インデックス信号を打ち込む

記録中に付属リモコンのINDEX WRITEボタンを押すことで、テープの任意の位置にインデックス信号を打ち込むことができます。インデックスは、再生時の頭出しに便利です。

[VTR SET]メニューの[AUTO INDEX]を[ON]に設定している場合、停止状態から記録を開始すると自動的にインデックス信号が打ち込まれます。インデックス信号打ち込み中は、文字情報表示(20ページ)上に約7秒間が表示されます。

#### ご注意

- が表示されている間は、新しくインデックス信号を打ち込むことができません。
- テープ上にインデックス信号が打ち込まれている位置で上書きして記録すると、インデックスは消去されます。映像、音声を残してインデックス信号のみを消去することはできません。
- 再生中、音声ダビング中にインデックス信号を打ち込むことはできません。付属リモコンのINDEX WRITEボタンは働きません。

#### 再生時にインデックスを利用するには

「頭出しする」(30ページ)をご覧ください。

# ダビング・編集

## 他の機器へダビングする

本機をプレーヤーとして、他の機器にダビングするときの接続と設定について説明します。

### 接続する

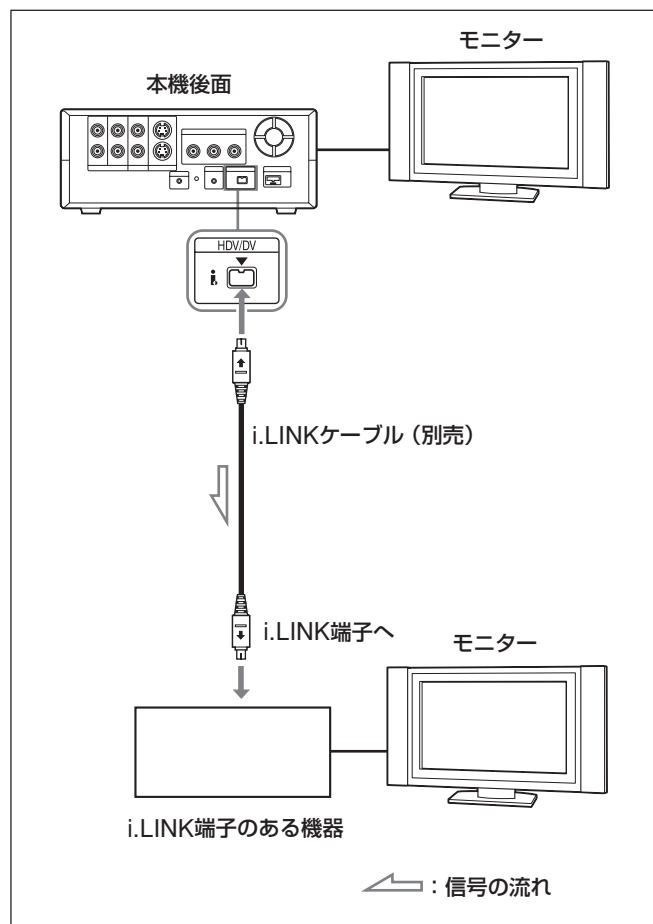
#### i.LINK端子のある機器へダビングする

図のようにi.LINKケーブルで本機を録画機につなぎます。  
機器の状態によって信号の流れる方向を自動的に切り換えるため、入力／出力に応じてつなぎ直す必要がありません。本機を編集機と接続してデジタルノンリニア編集システムで使用する場合も、HDV/DV端子を使って編集機と接続します。

◆ 編集機に接続する場合は、編集機に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ダビングを始める前に、出力したいフォーマットに設定する必要があります。[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL] (45 ページ) と[i.LINK SET] (46 ページ) の設定を行ってください。

◆ 詳しくは、65ページの「HDV/DVCAM/DVフォーマットの互換性」をご覧ください。



(続く)

DSR-25/45/50などに搭載しているデュプリケート機能を使ってHDVフォーマットで記録されたテープをi.LINK接続でダビングする場合は、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]で[DVCAM]を選択してください。

HDVフォーマットで記録したテープをDVCAMフォーマットにダウンコンバートする場合、制限があります。

◆詳しくは[i.LINK SET] (46 ページ) をご覧ください。

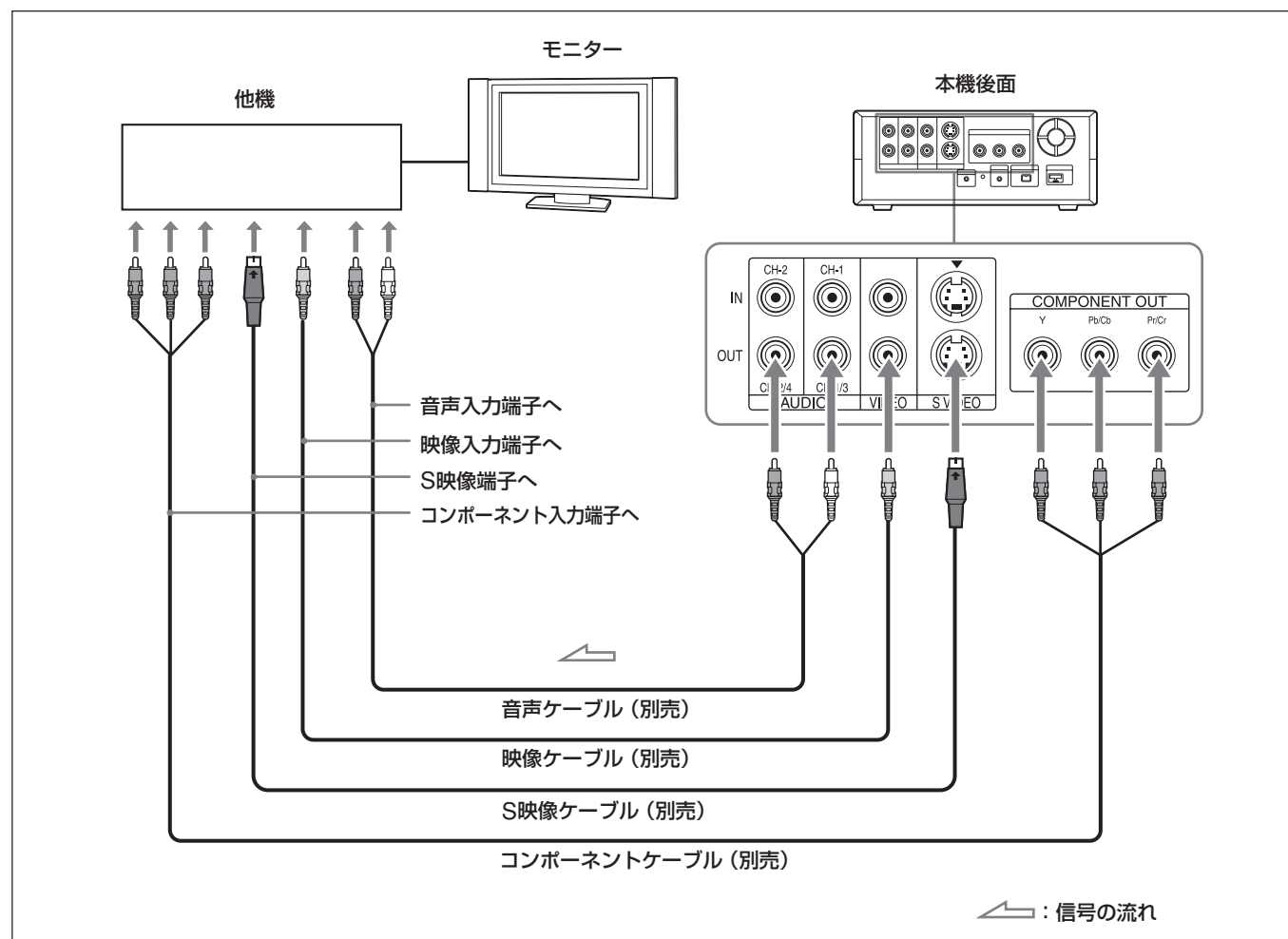
### ご注意

- i.LINKケーブル接続時は、再生一時停止中の画像を出力すると、画像が粗くなることがあります。
- HDVフォーマットの場合は、再生一時停止中の画像や変速再生時には走行スピードによっては画像は出力されますが、サーチ用の簡易画像になります (29 ページ)。
- i.LINKケーブル接続時は、映像または音声のみを出力することはできません。
- ダビング時の各フォーマット間の互換性については、付録「HDV/DVCAM/DVフォーマットの互換性」(65～69 ページ) をご覧ください。

## i.LINK端子のない機器との接続

i.LINK端子のない機器と接続する場合は、以下のように接続してください。

出力したい信号に合わせて、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[COMPONENT]と[DOWN CONVERT]を設定してください（45ページ）。



### ご注意

- 27ページの「ご注意」もあわせてご覧ください。
- AUDIOの出力信号は[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MIX]の設定に従います。

### ダビングする

#### 1 本機の準備をする。

◆ 34ページの「準備する」を参照してください。

#### 2 レコーダーの準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は入力を選択する。

◆ 詳しくは、使用するレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

#### 3 本機で再生を始め、レコーダーで録画する。

◆ 詳しくは、使用するレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

#### 4 ダビングが終わったら、レコーダーの録画を停止し、本機の再生を停止する。

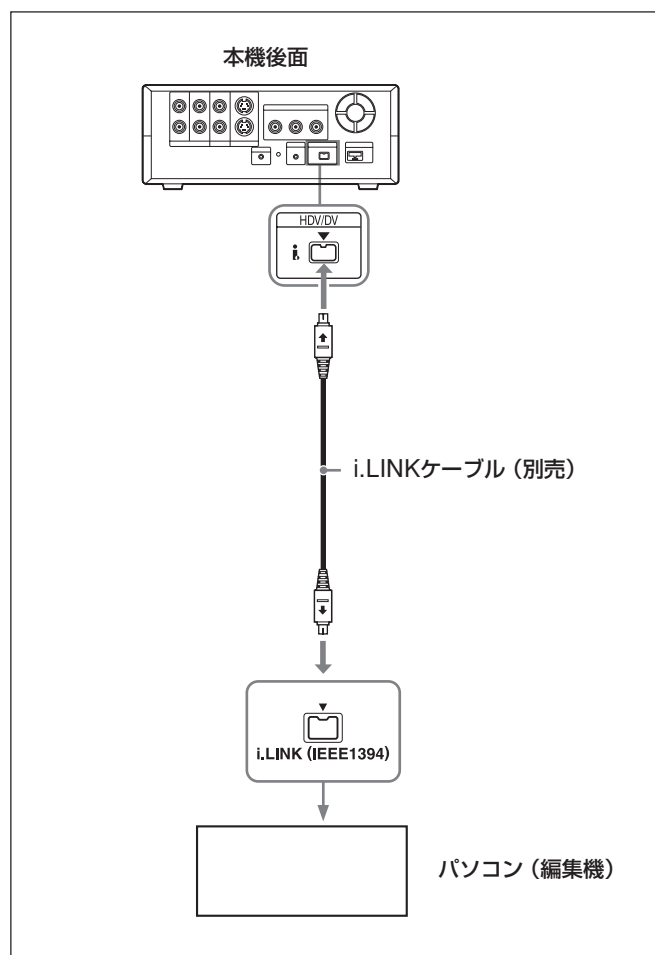


# 編集する（パソコンと接続する）

本機のi.LINK端子を使ってパソコン（編集機）と接続することにより、編集システムを構築することができます。

- 編集機の周辺機器の接続のしかたについては、編集機に付属の取扱説明書をご覧ください。また、接続時は使用する編集ソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 編集機能は編集ソフトウェアに依存します。実際の編集方法については、使用する編集ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

## 接続する



### ご注意

- i.LINKケーブルは、先にパソコン（編集機）とつないでから本機とつないでください。先に本機につなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINKケーブルで接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままi.LINKケーブルを抜き差しすると、機器のi.LINK端子から出力している高圧電流（8～40 V）が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- i.LINKケーブルをつなぐ前に[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]と[i.LINK SET]の設定をしてください。接続してから設定すると、パソコン（編集機）が本機を正しく認識しなかったり、ハングアップしたりすることがあります。
- パソコン（編集機）が扱えないフォーマット信号を入出力すると、パソコンが本機を正しく認識しなかったり、ハングアップしたりすることがあります。
- 本機がEEモードで、入力した信号をi.LINK端子からパソコン（編集機）に出力する場合、INPUT SELECTスイッチで選択されたS VIDEO信号またはVIDEO信号が出力されます。本機の再生信号のみをi.LINK端子から出力する場合は、INPUT SELECTスイッチをHDV/DVに切り換えてください。

## 準備する

### テープの画像をパソコン (編集機) に取り込むには

- HDVで記録したテープをHDVで編集機に取り込むときは、[HDV/DV SEL]を[HDV]に設定して (45 ページ)、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[OFF]にしてください (46 ページ)。
- DVCAM (DV) で記録したテープをDVCAM (DV) で編集機に取り込むときは、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[OFF]に設定してください (46 ページ)。
- HDVで記録したテープをDVCAM (DV) で編集機に取り込むときは、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DVCAM]、または[DV SP]にし、[DOWN CONVERT]を設定してください (46 ページ)。

### ご注意

- 編集機の周辺機器の接続のしかたについては、編集機に付属の取扱説明書をご覧ください。また、接続時はご使用になる編集ソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 編集機能は編集ソフトウェアに依存します。実際の編集方法については、ご使用になる編集ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 使用する編集機のソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。ご使用の前に、必ず本機が対応機種として推奨されていることをご確認ください。
- DVCAM (DV) で記録したテープをアップコンバートしてHDVで編集機に取り込むことはできません。
- [HDV/DV SEL]を[AUTO]に設定していると、HDVとDVCAM (DV) が混在記録されたテープをお使いになった場合、パソコン (編集機) が本機を正しく認識しなかったり、編集が正しく行われない場合があります。
- 編集時にHDVで記録されたテープを変速再生する場合、出力映像には制限事項があります。「変速再生する」の「HDVフォーマットの場合」の表をご確認ください (29 ページ)。
- HDVをDVCAMやDVにダウンコンバートしたテープを使う場合、従来のDVCAM/DV用の編集ソフトウェアによってはタイムコードに対するサーチができなかったり、エラーになったりすることがあります。
-  HDV/DV端子から入力したHDV信号を記録すると、つなぎ目が約1秒間の静止画になります。編集についてはデジタルノンリニア編集を推奨します。

- ご使用になる編集ソフトウェアが画像・音声と同時にタイムコードも出力する機能を備えている場合、出力されるタイムコードを記録するには本機の[TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]を[EXTERNAL]に設定する必要があります。

◆ [TC/UB SET]メニューについて詳しくは、「TC/UB SET」メニュー (51 ページ) をご覧ください。

- [TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]を[EXTERNAL]に設定して、 HDV/DV端子で接続している外部機器からタイムコードも入力した場合、入力されるタイムコードが不連続だったり正しく歩進しなかったりすると、入力されるタイムコードとテープに記録されるタイムコードや本機のタイムコード表示がずれる場合があります。また、このようにして記録された、タイムコードが不連続なテープを用いた場合、組み合わせる機器によっては編集やサーチ動作が正しく行われない場合があります。
- 本機には、HDVをDVCAM (DV) にダウンコンバートして、 HDV/DV端子に出力する機能が搭載されています。編集ソフトウェアによっては、このダウンコンバートしたDVCAM (DV) 信号では正しく編集できないことがあります。その場合は、以下の設定に従ってテープをダビングし、編集時はこのテープを使用してください。

### DVCAMに対応したテープを作成する

[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DVCAM] (46 ページ) に設定し、DVCAMフォーマットに対応したレコーダーでDVCAM記録を行ってください。

### 民生用DVに対応したテープを作成する

[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DV SP] (46 ページ) に設定し、DVフォーマットに対応したレコーダーでDV記録を行ってください。

### パソコン (編集機) の画像を本機に取り込むには

- HDVで取り込むときは、[HDV/DV SEL]を[HDV]に設定し、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[OFF]にしてください (45、46 ページ)。
- DVCAM (DV) で取り込むときは、[HDV/DV SEL]を[DV]に設定し (45 ページ)、また、記録したいフォーマットに従って[ REC MODE]で[DVCAM]または[DV SP]を選択してください (45 ページ)。編集ソフトウェアに合わせて[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DVCAM]あるいは[DV SP]に設定してください (46 ページ)。

# メニューで行う調整と設定

## メニューの操作

本機では、メニュー画面で各種の設定を行います。操作を始める前に、[OTHERS]メニューの[CLOCK SET]で本機の内蔵時計を合わせてください。時計の設定以外は工場出荷時の設定で使えますが、必要に応じて設定を変えてください。

### ご注意

- メニューの操作中に電源コードを抜かないでください。メニューの設定が変更されることがあります。
- 本機の内蔵バックアップ電池が消耗した場合は、内蔵時計の設定および[60i/50i SEL]の設定は初期化されます。内蔵バックアップ電池は、約24時間の通電でフル充電され、約3か月間保持されます。

### メニューの設定を変える

- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 左/右ボタンを押してアイコンを選び、EXECボタンを押して決定する。
- 3 左/右ボタンを押してサブメニューを選び、EXECボタンを押して決定する。
- 4 左/右ボタンを押して設定を変更する。
- 5 EXECボタンを押してサブメニューに戻る。
- 6 必要な変更が終了するまで手順1～5を繰り返す。

左/右ボタンを押して[↩RETURN]を選ぶと、一つ前の階層に戻ります。

メニューの項目の移動、調整項目の増減に◀/▶ボタンを使用することもできます。

### メニューの構成

本機のメニューは、以下のようにメニューとサブメニューから構成されています。

|             |   |                      |
|-------------|---|----------------------|
| IN/OUT REC  | — | HDV/DV SEL (45ページ)   |
|             | — | REC MODE (45ページ)     |
|             | — | VIDEO OUT (45ページ)    |
|             | — | i.LINK SET (46ページ)   |
|             | — | COLOR BAR (46ページ)    |
|             | — | BARS TYPE (47ページ)    |
|             | — | DV BARS (47ページ)      |
|             | — | EE/PB SEL (47ページ)    |
|             | — | 480i LEVEL (47ページ)   |
|             | — |                      |
| DISPLAY SET | — | DATA CODE (47ページ)    |
|             | — | LETTER SIZE (47ページ)  |
|             | — | DATE DISPLAY (48ページ) |
|             | — | TIME DISPLAY (48ページ) |
|             | — | REMAINING (48ページ)    |
| AUDIO SET   | — | AUDIO MODE (48ページ)   |
|             | — | AUDIO AGC (48ページ)    |
|             | — | AUDIO REC LV (48ページ) |
|             | — | AUDIO MIX (49ページ)    |
|             | — | AUDIO LOCK (49ページ)   |
|             | — | JOG AUDIO (49ページ)    |
| VTR SET     | — | AUTO REPEAT (49ページ)  |
|             | — | AUTO INDEX (49ページ)   |
|             | — | STILL PICT (49ページ)   |
|             | — | FF/REW SPEED (50ページ) |
|             | — | STILL TIME (50ページ)   |
|             | — | FROM STILL (50ページ)   |
|             | — | FROM REC P (50ページ)   |
| TC/UB SET   | — | HDV/DV IN TC (51ページ) |
|             | — | TC FORMAT (51ページ) *  |
|             | — | TC RESET (51ページ)     |
| OTHERS      | — | LANGUAGE (52ページ)     |
|             | — | COMMANDER (52ページ)    |
|             | — | PB YNR (52ページ)       |
|             | — | PB CNR (52ページ)       |
|             | — | CLOCK SET (52ページ)    |
|             | — | HOURS METER (53ページ)  |
|             | — | AC ON MODE (53ページ)   |
|             | — | 60i/50i SEL (53ページ)  |
|             | — | INITIALIZE (53ページ)   |

\*60i 方式使用時のみ設定可能

## メニューの項目

「設定」の    部分は工場出荷時の設定を表します。

### IN/OUT REC

| アイコン/メニュー                                                                                    | サブメニュー                                                                                       | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  IN/OUT REC | HDV/DV SEL<br>(27、33、37、41 ページ)                                                              | <p>通常は[AUTO]にしてください。テープ再生時に出力フォーマットを限定したいときや、 HDV/DV 端子から入力／出力する信号を限定したいときに選びます。アナログ出力の信号にも影響します。</p> <p><b>AUTO:</b>      テープ再生時、HDVの信号とDVCAM (DV) の信号を自動で切り換えて信号を出力する。</p> <p>                  i.LINK 接続時、HDVの信号とDVCAM (DV) の信号を自動で切り換えて、<br/>                             HDV/DV 端子から入出力し記録／再生する。</p> <p><b>HDV:</b>          テープ再生時、HDVで記録された部分のみ信号を出力する。</p> <p>                  i.LINK 接続時、HDVの信号のみを  HDV/DV 端子から入出力し記録／再生する。</p> <p>                 また、HDV 対応のパソコンなどと  i.LINK 接続するときに選ぶ (33、41 ページ)。</p> <p><b>DV:</b>            テープ再生時、DVCAM (DV) で記録された部分のみ信号を出力する。</p> <p>                  i.LINK 接続時、DVCAM (DV) の信号のみを  HDV/DV 端子から入出力し記録／再生する。</p> <p>                 また、DV 対応のパソコンなどと  i.LINK 接続するときに選ぶ (27、33、41 ページ)。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定を変える前に、必ず  i.LINK ケーブルを抜くか、接続機器の電源をオフにしてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が信号を正しく認識できないことがあります。</li> <li>[AUTO]を選ぶと、HDVとDVCAM (DV) の信号が切り替わるときに一時画面が消えて、画像と音声が入り切れます。</li> <li> i.LINK への出力、および記録されるテープフォーマットについての詳細は68ページをご覧ください。</li> </ul> |
|                                                                                              |  REC MODE | <p>記録フォーマットをDVCAMまたはDV (SP モードのみ) に切り換えます。</p> <p><b>DVCAM:</b>      DVCAM フォーマットで記録する。</p> <p><b>DV SP:</b>        DV フォーマット (SP モード) で記録する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>記録中に設定を変更することはできません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                                                                                              | VIDEO OUT                                                                                    | <p>COMPONENT OUT 端子出力の設定を切り換えます。</p> <p><b>COMPONENT</b></p> <p>COMPONENT OUT 端子から出力されるフォーマットを切り換えます。</p> <p>[60i/50i SEL]の設定を[60i]に設定しているときは、[480i]、[480p/480i]、[1080i/480i]から選びます。</p> <p>[60i/50i SEL]の設定を[50i]に設定しているときは、[576i]、[576p/576i]、[1080i/576i]から選びます。</p> <p><b>DOWN CONVERT</b></p> <p>HDV 再生時や  HDV/DV 端子に HDV 信号を入力している場合のダウンコンバート出力するときの設定を切り換えます。</p> <p><b>SQUEEZE:</b>    両面の天地を生かし、水平方向に圧縮して出力する。</p> <p><b>LETTER BOX:</b> 垂直方向を圧縮することにより、縦横比を損なうことなく出力する。</p> <p><b>EDGE CROP:</b> 両面の天地を生かし、左右を切り捨てる方法で出力する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>著作権保護のための信号が記録されているHDVフォーマットのテープを再生した場合や著作権保護のための信号を含むHDV信号が  HDV/DV 端子に入力された場合は、このメニューの設定にかかわらずCOMPONENT OUT端子は480iもしくは576iで映像を出力する場合があります。</li> <li>再生しているテープや  HDV/DV 端子に入力しているフォーマットにかかわらず、本メニューで表示される選択項目は[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]の設定に従ったものが表示されます。</li> <li>480p および 576p でCOMPONENT OUT 端子に出力する場合、本機はワイド識別信号を重畳しません。本機が出力する映像のダウンコンバートの形式に従って、モニター側の設定を行ってください。</li> <li>DVCAM (DV) フォーマットテープの再生時、NTSC/PAL フォーマットのEE 画像の表示時は、[COMPONENT]の設定にかかわらず、COMPONENT OUT 端子からは480iもしくは576iで出力されます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(続く)

| アイコン/メニュー                                                                                    | サブメニュー                    | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  IN/OUT REC | i.LINK SET<br>(27、37 ページ) | <p>[HDV/DV SEL]が[AUTO]または[HDV]に設定のとき、下記の設定が有効になります。</p> <p>HDV→DV CONV</p> <p><b>[OFF]</b>:            ダウンコンバートしない。</p> <p>DVCAM:            DVCAMフォーマットにダウンコンバートする。</p> <p>DV SP:            DV SPフォーマットにダウンコンバートする。</p> <p>DOWN CONVERT</p> <p>[HDV→DV CONV]が[DVCAM]または[DV SP]のときに有効です。</p> <p><b>[SQUEEZE]</b>:    両面の天地を生かし、水平方向に圧縮する。</p> <p>EDGE CROP:    両面の天地を生かし、左右を切り捨てる方法で出力する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [DVCAM]を選択した場合、以下の制限事項があります。             <ul style="list-style-type: none"> <li>– テープ上の絶対番地 (ATN : Absolute Track Number) はDVCAMフォーマットに換算した値を通常再生スピード (1倍速) で再生中、または内蔵カラーバーをHDVフォーマットで記録しているときのみ出力します。それ以外の変速再生中は、HDVフォーマットで記録されているテープ上の値を出力します。</li> <li>– 通常再生スピード (1倍速) で再生中に無記録部分が存在した場合、その部分をDVCAMに換算した絶対番地と見積もって走行します。</li> <li>– DSR-25/45/50などに搭載しているデュプリケート機能を使ってテープをダビングする場合は[DVCAM]を選択してください。</li> <li>– [DVCAM]に設定し、デュプリケート後にできたテープとオリジナルのHDVフォーマットで記録されたテープの絶対番地は一致しないので、ご注意ください。(タイムコードの数値は正しくコピーされます。)</li> </ul> </li> <li>• [DOWN CONVERT]の設定を変更すると、COMPONENT OUT端子、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子の映像信号が一瞬乱れる場合があります。</li> <li>• 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えるとビデオ機器が信号を正しく認識できないことがあります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |
|                                                                                              | COLOR BAR                 | <p>カラーバーの表示／非表示を切り換えます。また、音声トーン信号 (1 kHz 60i時：フルビットー 20 dB / 50i時：フルビットー 18 dB) の出力を切り換えます。</p> <p><b>[OFF]</b>:            カラーバーを表示しない。トーン信号を出力しない。</p> <p>ON:                カラーバーを表示する。トーン信号を出力しない。</p> <p>ON [TONE]:      カラーバーを表示する。トーン信号を出力する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カラーバーとトーン信号は、 HDV/DV端子とアナログ端子に出力されます。</li> <li>• 再生時、カラーバーとトーン信号は出力できません。</li> <li>•  HDV/DV端子に出力されるカラーバー／トーン信号と、テープに記録されるカラーバー／トーン信号のフォーマットは[HDV/DV SEL]と REC MODE]の設定に従います。             <ul style="list-style-type: none"> <li>– [HDV/DV SEL]が[AUTO]のときは、文字情報表示のモニター表示部「フォーマット表示 ① (20 ページ)」で表示されるフォーマットで出力・記録されます。</li> <li>– [HDV/DV SEL]が[HDV]のときは、HDVフォーマットで出力・記録されます。</li> <li>– [HDV/DV SEL]が[DV]で、 REC MODE]が[DVCAM]のときは、DVCAMフォーマットで出力・記録されます。</li> <li>– [HDV/DV SEL]が[DV]で、 REC MODE]が[DV SP]のときは、DVフォーマット (SPモード) で出力・記録されます。</li> </ul> </li> <li>• [COLOR BAR]の設定は本機の電源を入れ直すと、自動的に[OFF]になります。</li> </ul> |



| アイコン/メニュー                                                                                    | サブメニュー     | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  IN/OUT REC | BARS TYPE  | <p>カラーバーの種類を切り換えます。</p> <p><b>TYPE 1</b> : カラーバー TYPE 1 を出力する。<br/> <b>TYPE 2</b> : カラーバー TYPE 2 を出力する。<br/> <b>TYPE 3</b> : カラーバー TYPE 3 を出力する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本機で出力するカラーバーはNTSC (60i) 時、「セットアップ無し(0 IRE)」信号です。</li> <li>本機のアスペクト比が4:3の場合でも、カラーバーは16:9のものを内部で発生します。HDVフォーマット時、エッジクロップ (4:3) で出力するときは[TYPE 1]を選択してください。</li> <li>本機のカラーバーはHDV (1080i) の解像度で発生したものです。HDV (1080i) 以外の解像度で出力する場合、このカラーバーを演算で縮小して出力します。このため、色の変わり目などで若干の乱れがあります。</li> <li>記録中に種類を変えることはできません。</li> </ul> |
|                                                                                              | DV BARS    | <p>[BARS TYPE]で設定されたカラーバーのアスペクト比を切り換えます。(DVCAM/DV(SP)のみ)。</p> <p><b>16:9</b> : カラーバーのアスペクト比を16:9にする。<br/> <b>4:3</b> : カラーバーのアスペクト比を4:3にする。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>記録中に設定を変更することはできません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                                                                              | EE/PB SEL  | <p>停止、早送り、巻戻し時の設定をします。</p> <p><b>EE</b> : EE画とEE音を出力する。<br/> <b>PB</b> : 映像と音声をミュートする。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>本設定で[PB]を選択しても、RECボタンを単独で押すと以下の状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EE画とEE音を出力します。</li> <li>[TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]メニューで[EXTERNAL]を選択している場合は、INPUT SELECTスイッチでHDV/DVが選ばれているときに、 HDV/DV端子に接続された他機のタイムコードがデータ表示画面に表示されます。</li> </ul>                                                                        |
|                                                                                              | 480i LEVEL | <p>コンポーネントの出力が[480i]の場合の出力レベルを切り換えます。</p> <p><b>SMPTE</b> : COMPONENT OUT端子をSMPTEレベルにする。<br/> <b>BETACAM</b> : COMPONENT OUT端子をBETACAMレベルにする。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>詳しくは、本機の「仕様」にある「COMPONENT OUT端子」(72ページ)をご覧ください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

## DISPLAY SET

| アイコン/メニュー                                                                                       | サブメニュー               | 設定                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  DISPLAY SET | DATA CODE<br>(29ページ) | <p>アナログビデオ出力へのデータコードの表示／非表示を切り換えます。</p> <p><b>OFF</b> : データコードを表示しない。<br/> <b>DATE</b> : 日付データを表示する。<br/> <b>CAMERA DATA</b> : カメラデータを表示する</p> |
|                                                                                                 | LETTER SIZE          | <p>メニュー画面で、カーソルのある行の文字サイズを切り換えます。</p> <p><b>NORMAL</b> : 通常の大きさの文字で表示する。<br/> <b>2×</b> : 縦倍角文字で表示する。</p>                                      |

(続く)

| アイコン/メニュー                                                                                     | サブメニュー                                                                                                  | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  DISPLAY SET | DATE DISPLAY                                                                                            | <p>データコード表示での日付の表示形式を切り換えます。</p> <p><b>Y/M/D</b> : 年 / 月 / 日の順番に表示する。<br/> <b>M/D/Y</b> : 月 / 日 / 年の順番に表示する。<br/> <b>D/M/Y</b> : 日 / 月 / 年の順番に表示する。</p> <p><b>ご注意</b><br/> [OTHERS]メニューの[LANGUAGE]をENGLISHまたはENG[SIMP]に設定した場合、[DATE DISPLAY]をM/D/Yに設定すると、月は英語3文字で表示されます(例: JAN)。<br/> 「CLOCK SET」(52 ページ) もご覧ください。</p> |
|                                                                                               | TIME DISPLAY                                                                                            | <p>データコード表示での時刻の表示形式を切り換えます。</p> <p><b>12H</b> : 12時間表示にする。<br/> <b>24H</b> : 24時間表示にする。</p>                                                                                                                                                                                                                           |
|                                                                                               |  REMAINING<br>(20 ページ) | <p><b>AUTO</b> : 以下のときに、テープ残量を8秒間表示する。<br/> - カセットが入った状態で電源を入れ、テープ残量が確定したとき<br/> - ▶PLAY ボタンを押したとき</p> <p>以下のときに、テープ残量を常に表示する。<br/> - 早送り、巻き戻し中<br/> - 早送り再生、巻き戻し再生中</p> <p><b>ON</b> : テープの残量を常に表示する。</p>                                                                                                             |

## AUDIO SET

| アイコン/メニュー                                                                                     | サブメニュー                 | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  AUDIO SET | AUDIO MODE<br>(35 ページ) | <p>オーディオモードを切り換えます。</p> <p><b>FS32K</b> : オーディオモードを4チャンネルモード(12ビットモード)にする。<br/> <b>FS48K</b> : オーディオモードを2チャンネルモード(16ビットモード)にする。(オーディオ領域すべてを使って音声を記録するため高音質記録が可能です。)</p> <p><b>ご注意</b><br/> • i.LINK 入力時はこの設定にかかわらず、入力された信号と同じオーディオモードになります。<br/> • HDV 記録時は、自動的に[FS48K]で記録されます。<br/> • 記録中は、この項目は設定できません。<br/> • オーディオモードを切り換えた瞬間にはノイズが出ることがあります。<br/> • アフレコ対応機器でアフレコを予定しているときは、[FS32K]に設定します。</p> |
|                                                                                               | AUDIO AGC              | <p>録音レベルを自動で調整します。</p> <p><b>ON</b> : 録音レベルを自動で調節する。<br/> <b>OFF</b> : 録音レベルを自動で調節しない。([AUDIO REC LV] (35 ページ) で調整します。)</p> <p><b>ご注意</b><br/> [ON]に設定しても入力アンプのダイナミックレンジ以上の大音量に対しては効果がありません。入力可能な音声レベルについては、本機の「仕様」(71 ページ) をご覧ください。</p>                                                                                                                                                            |
|                                                                                               | AUDIO REC LV           | <p>記録時は、本機に入力されたアナログオーディオ信号(チャンネル1、2)のオーディオレベルを調整します。</p> <p>- 6 dB : オーディオレベルを入力信号から6 dB 下げる。<br/> <b>0 dB</b> : オーディオレベルを入力信号と同じにする。<br/> + 6 dB : オーディオレベルを入力信号から6 dB 上げる。</p> <p><b>ご注意</b><br/> • [AUDIO AGC]を[OFF]に設定しているときのみ有効です。<br/> • 最大音量のときにレベルが0 dBを超えると、音がひずみます。<br/> • 入力可能最大レベルについては、本機の「仕様」(71 ページ) をご覧ください。</p>                                                                   |



| アイコン/メニュー                                                                                   | サブメニュー                | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  AUDIO SET | AUDIO MIX             | <p>4チャンネルモード時にAUDIO端子から出力される音声を選びます。</p> <p><b>CH1,CH2:</b> チャンネル1/2の音声のみを出力する。</p> <p><b>MIX:</b> チャンネル1と3、およびチャンネル2と4の合成音を出力する。(各信号レベルは50% (−6 dB) になります。)</p> <p><b>CH3,CH4:</b> チャンネル3/4の音声のみを出力する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [AUDIO MODE]が[FS48K]で記録されたテープでは設定できません。</li> <li>• HDVでの記録・再生時は設定できません。</li> <li>• オーディオレベルメーターは本設定で選択した音声レベルが表示されます。</li> </ul> |
|                                                                                             | AUDIO LOCK            | <p><b>UNLOCK MODE:</b> オーディオとビデオのサンプリングロックをそれぞれ独立して記録する。民生用のDVフォーマットでは、アンロックモードが採用されています。</p> <p><b>LOCK MODE:</b> オーディオとビデオのサンプリングロックを同期化して記録する。オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有効です。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DV (SPモード) のときのみ設定できます。</li> <li>• HDV/DVCAMのときは、自動的に[LOCK MODE]に固定されます。</li> <li>• i.LINK入力時はこの設定にかかわらず、入力された信号と同じ設定になります。</li> </ul>             |
|                                                                                             | JOG AUDIO<br>(30 ページ) | <p>変速再生時の音声出力の有無を切り換えます。(DVCAM/DV (SP)のみ)</p> <p><b>OFF:</b> 変速再生時に音声を出さない。</p> <p><b>ON:</b> 変速再生時に音声を出す。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ON]に設定しても、記録フォーマットの違い (DVCAM/DV) やテープの状態などによっては、音声が出なかったり途切れたりすることがあります。</li> <li>• HDVフォーマットで記録されたテープでは変速再生中に音声を出力することはできません。</li> </ul>                                                                                    |

## VTR SET

| アイコン/メニュー                                                                                   | サブメニュー                  | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  VTR SET | AUTO REPEAT<br>(31 ページ) | <p>繰り返し再生の有無を切り換えます。</p> <p><b>OFF:</b> 繰り返し再生を実行しない。</p> <p><b>ON:</b> 繰り返し再生を実行する。</p>                                                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                             | AUTO INDEX<br>(36 ページ)  | <p>停止状態から記録を開始したときの、インデックス信号の自動打ち込みの設定を切り換えます。</p> <p><b>ON:</b> 記録開始時にインデックス信号を自動的に打ち込む。</p> <p><b>OFF:</b> 記録開始時にインデックス信号を自動的に打ち込まない。</p>                                                                                                                                                                               |
|                                                                                             | STILL PICT              | <p>静止画状態のときに表示する画像を切り換えます (DVCAM/DV (SP)のみ)。</p> <p><b>AUTO:</b> 画像の動きに応じて最適化した画像を表示する。</p> <p><b>FRAME:</b> フレーム画像を表示する。</p> <p><b>FIELD:</b> フィールド画像を表示する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [FIELD]に設定した場合には、第2フィールドを表示します。</li> <li>• HDVフォーマットで記録されたテープの場合は、常にフィールド画像を表示します。</li> </ul> |

(続く)

| アイコン/メニュー                                                                                 | サブメニュー                   | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  VTR SET | FF/REW SPEED<br>(12 ページ) | <p>早送り／巻戻し時の走行動作を切り換えます。</p> <p><b>[FF/REW]:</b> 映像なしの最速スピードで走行する。<br/> <b>SHUTTLEMAX:</b> 映像ありの最速スピードで走行する。</p> <p>DVCAM<br/>           NTSC: 約14倍速<br/>           PAL: 約17倍速<br/>           HDV/DV (SP)<br/>           約24倍速</p>                                                                                                                                                                                                         |
|                                                                                           | STILL TIME               | <p>静止画状態からテープ保護モードに移るまでの時間を切り換えます。</p> <p><b>[30 sec]:</b> 30秒<br/> <b>1 min:</b> 1分<br/> <b>2 min:</b> 2分<br/> <b>3 min:</b> 3分</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生一時停止状態を長時間続けると、テープおよび本機のビデオヘッドが損傷を受けたり、ビデオヘッドが目づまりしたりすることがあります。特殊な場合を除き、なるべく短い時間を選択してください。特にミニDVカセットで、記録時間が60分を超えるものを使用する場合は、[30 SEC]もしくは[1 MIN]に設定してください。</li> <li>設定変更後、最初の保護モードへの移行は、設定変更前の時間で行われます。2回目からの移行は設定変更後の時間で行われます。</li> </ul> |
|                                                                                           | FROM STILL               | <p>静止画状態から、[STILL TIME]で設定した時間が経過した後に移行するテープ保護モードを切り換えます。</p> <p><b>[STOP]:</b> 停止する。<br/> <b>STEP FORWARD:</b> 正方向に1フレーム送る。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>HDVフォーマットで記録されたテープの場合は、[STEP FORWARD]を選択すると数フレーム正方向に送られます。</p>                                                                                                                                                                                                                       |
|                                                                                           | FROM REC P               | <p>記録一時停止してから3分間経過した後に移行するテープ保護モードを切り換えます。</p> <p><b>[STOP]:</b> 停止する。<br/> <b>REC PAUSE:</b> 記録一時停止状態のままにする。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>[REC PAUSE]を選択して、記録一時停止状態を長時間続けると、テープおよび本機のビデオヘッドが損傷を受けたり、ビデオヘッドが目づまりする場合があります。特殊な場合を除き、[STOP]を選択してください。特にミニDVカセットで、記録時間が60分を超えるものを使用する場合は、[STOP]に設定してください。</p>                                                                                                                                     |

## TC/UB SET

| アイコン/メニュー       | サブメニュー       | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 00:00 TC/UB SET | HDV/DV IN TC | <p>i.LINK入力時に記録するときのタイムコードを選択します。</p> <p><b>INTERNAL</b>: 本機内部で発生させたタイムコードを記録する。(テープに何も記録されていない場合は、00:00:00:00から記録します。すでに記録されている信号に続けて記録する場合は、直前に記録されているタイムコードに連続するタイムコードを記録します。)</p> <p><b>EXTERNAL</b>:  HDV/DV端子から入力されている映像・音声と一緒に、タイムコードも記録する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [EXTERNAL]に設定していて、前面パネルのINPUT SELECTスイッチで[HDV/DV]を選択している状態で、 HDV/DV端子から信号が入力されない状態で記録すると、タイムコードとして、「--:--:--:--」が記録されます。信号が入力されると、その信号のタイムコードが記録されます。</li> <li>• [EXTERNAL]に設定していて、外部から入力されているタイムコードが不連続な場合や正しく歩進しない場合、本機でのタイムコードの記録や表示がずれることがあります。またこの状態で記録したテープを使うと、組み合わせる機器によっては、編集やサーチが正しく行われないことがあります。</li> </ul> |
|                 | TC FORMAT    | <p>60i時のタイムコードの記録方式を選びます。</p> <p><b>AUTO</b>: すでにテープに設定されている方式に合わせる。(テープに何も記録されていない場合は、ノンドロップフレームモードになります。途中でテープのタイムコードの記録方式が読み取れなくなった場合は、その直前の読み取れる位置の方式を継続します。この直前の位置の方式はカセットを取り出すとクリアされ、再度同じ位置から始める場合はノンドロップフレームモードになります。)</p> <p><b>DF</b>: ドロップフレームモードにする。</p> <p><b>NDF</b>: ノンドロップフレームモードにする。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>[60i/50i SEL]が50iに設定されていると、本機は50i仕様の機器として動作します。このため、内部で発生するタイムコードはノンドロップフレームモードになります。60i方式の信号をHDV/DV入力している場合でも[60i/50i SEL]が50iに設定されていると、[TC FORMAT]の設定にかかわらず、タイムコードはノンドロップフレームモードになります。ドロップフレームに設定するときは、[60i/50i SEL]を60iにしてください。この場合[TC FORMAT]の設定は、[60i/50i SEL]が50iに設定される以前の状態に戻ります。</p>                                                                                                                                                                                 |
|                 | TC RESET     | <p>タイムコードの値を00:00:00:00にリセットします。</p> <p><b>NO</b>: タイムコードのリセットを実行しない。</p> <p><b>YES</b>: タイムコードのリセットを実行する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>本機能はRECまたはREC PAUSEのときのみ有効です。また、INPUT SELECTスイッチでHDV/DVを選択している状態で、[HDV/DV IN TC]が[EXTERNAL]になっているときは、本機能を実行してもタイムコードはリセットされません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

## OTHERS

| アイコン/メニュー                                                                                | サブメニュー                | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  OTHERS | LANGUAGE              | 画面表示させる言語を選択したり、変更したりすることができます。英語、簡易英語、日本語から選べます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                                                                                          | COMMANDER<br>(18 ページ) | <p>本機の操作方法を切り換えます。</p> <p><b>WIRELESS</b>: 付属リモコンで操作する。</p> <p><b>CONTROL S</b>: CONTROL S IN 端子に接続したリモートコントロールユニット DSRM-10 (別売) で操作する。(リモコンでは操作できません。)</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 付属リモコンだけでなく、ソニー製のリモコン (リモコンモードまたはコマンドモードが[VTR4]に設定されているもの) が本機に向けて使用された場合、本機はリモコン操作に反応します。リモコンによる本機の操作をすべて無効にしたいときは、この設定を[CONTROL S]にしてください。</li> <li>• [CONTROL S]ではDSRM-20 (生産完了品:別売) もお使いいただけます。</li> </ul> |
|                                                                                          | PB YNR                | <p>再生輝度信号に対するノイズリダクション処理のレベルを切り換えます。</p> <p><b>OFF</b>: ノイズリダクションをかけない。</p> <p><b>LOW</b>: ノイズリダクションを弱くかける。</p> <p><b>HIGH</b>: ノイズリダクションを強くかける。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ノイズリダクションをかけると、映像の内容によっては残像を生じる場合があります。</li> <li>• ノイズリダクション処理は、HDV/DV 端子から出力される画像にも作用します。HDV/DV 端子を使用したダビング、編集の際はご注意ください。</li> </ul>                                                                                 |
|                                                                                          | PB CNR                | <p>再生色差信号に対するノイズリダクション処理のレベルを切り換えます。</p> <p><b>OFF</b>: ノイズリダクションをかけない。</p> <p><b>LOW</b>: ノイズリダクションを弱くかける。</p> <p><b>HIGH</b>: ノイズリダクションを強くかける。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ノイズリダクションをかけると、映像の内容によっては残像を生じる場合があります。</li> <li>• ノイズリダクション処理は、HDV/DV 端子から出力される画像にも作用します。HDV/DV 端子を使用したダビング、編集の際はご注意ください。</li> </ul>                                                                                 |
|                                                                                          | CLOCK SET             | <p>1 左/右ボタンを押して数値を合わせ、左/右ボタンを押して年、月、日、時を選択する。</p> <p>2 EXEC ボタンを押して決定する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [TIME DISPLAY]を[12H]に設定しているとき、真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなります。</li> <li>• 3か月以上本機に通電しない状態が続くと内蔵の充電式電池が放電して、日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式電池を充電してから設定し直してください (64 ページ)。</li> </ul>                                                                                                                 |

| アイコン/メニュー | サブメニュー                  | 設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OTHERS    | HOURS METER             | <p>本機のデジタル時計による、各種の累計時間／回数を10時間または10回単位で表示します。</p> <p>OPERATION： 通電時間<br/> DRUM RUN： ドラムの回転時間<br/> TAPE RUN： テープの走行時間<br/> THREADING： テープのアンスレディング回数</p>                                                                                                                                                  |
|           | AC ON MODE              | <p>AC電源を入れたときの、本機の動作状態を設定します。</p> <p><b>STANDBY</b>： スタンバイモードになる。<br/> ON： 電源が入った状態になる。</p>                                                                                                                                                                                                               |
|           | 60i/50i SEL<br>(34 ページ) | <p>1080/60i (NTSC 方式) と1080/50i (PAL 方式) を切り換えます。</p> <p>1 左/右を押して[YES]を選び、EXEC ボタンを押して決定する。</p> <div data-bbox="820 695 1096 851"> <p>60i/50i SEL</p> <p>Change to 50i?<br/>Reboots<br/>after change.</p> <hr/> <p>YES<br/>NO</p> </div> <p>2 左/右を押してもう1度[YES]を選び、EXEC ボタンを押して決定する。</p>                  |
|           | INITIALIZE              | <p>MENU 項目の設定を工場出荷時にリセットします。[CLOCK SET]の設定は変更されません。</p> <p>1 左/右を押して[YES]を選び、EXEC ボタンを押して決定する。</p> <div data-bbox="820 1017 1096 1172"> <p>INITIALIZE</p> <p>Reset all settings<br/>except "CLOCK SET"<br/>to defaults.</p> <hr/> <p>YES<br/>NO</p> </div> <p>2 左/右を押してもう1度[YES]を選び、EXEC ボタンを押して決定する。</p> |

# 保守・点検

## 困ったときは

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

### 全体操作について

| 症状                                                        | 原因/対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メニューが設定できない。                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [IN/OUT REC]メニューの設定によっては、一部のメニューが設定できないことがあります。<br/>→[IN/OUT REC]メニューの設定を変えてください (45 ページ)。</li> <li>• EE時または再生時のみ設定できるメニューがあります。<br/>→本機をEEモードまたは再生状態にしてください。</li> <li>• 停止時のみ設定できるメニューがあります。</li> <li>• 時刻を設定しないと設定できないメニューがあります。</li> <li>• カセットが誤消去防止状態になっていると設定できないメニューがあります。<br/>→カセットの誤消去防止状態を解除してください。</li> </ul> |
| 操作していないのにメニュー設定が変わる。                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• メニューの操作中に電源を抜いた。<br/>→このような場合、メニューの設定が変わってしまうことがあります。メニューを設定し直してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                         |
| 操作していないのに本機がひとりで動作してしまう。                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [OTHERS]メニューの[COMMANDER]が[WIRELESS]に設定されているときに、本機の近くでソニー製のリモコン (リモコンモードまたはコマンドモードが[VTR4]に設定されているもの) が使用された。<br/>→[COMMANDER]を[CONTROL S]に設定してください。</li> </ul>                                                                                                                                                            |
| 付属のワイヤレスリモコンが働かない。                                        | →[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[WIRELESS]にしてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 本機の設定は正しいのに、リモートコントロールユニットDSRM-10 (別売) から記録の操作ができない。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• リモートコントロールユニットDSRM-10のRECボタンを押したままPLAYボタンを押してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 電源プラグをコンセントに差すと、自動的に電源が入る。<br>本機にACアダプターを接続すると、自動的に電源が入る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [OTHERS]メニューの[AC ON MODE]が[ON]に設定されている。<br/>→ [AC ON MODE]を[STANDBY]に設定してください。</li> <li>• 本機にカセットが入っていて、[VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]が[ON]に設定されている。<br/>→ [AUTO REPEAT]を[OFF]に設定してください。</li> </ul>                                                                                                                         |

## 電源について

| 症状                     | 原因/対策                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電源が入らない。               | <ul style="list-style-type: none"> <li>ACアダプターの電源プラグが抜けている。</li> </ul> →電源プラグを差し込んでください。                                                                                                                                                             |
| 電源が入っているのに操作できない。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>結露が起きている (63 ページ)。</li> <li>カセットを斜めに挿入している。</li> </ul> →カセットを抜き、まっすぐ入れ直してください。<br>→電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから約1分後に電源をつないでください。それでも操作できないときは、RESET ボタンを先のとがったもので押してください。RESET ボタンを押すと、日時と[60i/50i SEL]の設定が初期化されます。 |
| ACアダプター使用中、本機に不具合が生じる。 | →電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう1度電源をつないでください。                                                                                                                                                                                                             |

## カセットについて

| 症状                                    | 原因/対策                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カセットが入らない。                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>結露が起きている (63 ページ)。</li> </ul> →電源を入れたまま、1時間以上待ってください。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>カセットを斜めに挿入している。</li> </ul> →カセットを抜き、まっすぐ入れ直してください。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>すでに本機内にカセットが入っている。</li> </ul> →カセットを取り出して、使用したいカセットを挿入してください。 |
| テープの取り出しに時間がかかる。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>故障ではありません。</li> </ul> →テープを保護するため、本機がどのような状態にあっても確実に、安全にテープを取り出せるように、取り出し時のスピードを落としています。カセット取り出し動作中は、  (カセット) インジケーターが点滅します。                                          |
| カセットが取り出せない。                          | →電源が正しく接続されているか確認してください。                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| EJECT ボタンを押してもテープが出てこない。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>本機が結露しかけている (63 ページ)。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                           |
| カセットメモリー付きカセットで、カセットラベル表示やタイトル表示が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>本機はカセットメモリーに対応していないため、表示されません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                  |
| テープ残量表示が出ない。                          | →常に表示したいときは、[DISPLAY SET]メニューで  REMAINING]を[ON]にしてください。                                                                                                                                                      |

## 出力・再生について

| 症状                                                                                                            | 原因/対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 再生できない。                                                                                                       | →テープが最後まで行っているときは巻き戻してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 逆方向に変速再生ができない。                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>• HDVで記録したテープでは逆方向への変速再生はできません（29ページ）。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 再生した画像に横線が入る、モザイク状のノイズが出る、画像がぼけたり映らなかったりする。                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビデオヘッドが汚れている。<br/>→付属のクリーニングカセットできれいにしてください。</li> <li>• テープに傷がある。<br/>→カセットを交換してください。</li> <li>• DV（LPモード）で記録されたテープを再生している。<br/>→本機はHDV、DVCAM、DV（SPモード）にのみ対応しています。DV（LPモード）で記録されたテープは再生できません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|  HDV/DV端子を使ってつないだ他機の画像が映らない。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>→i.LINKケーブル（別売）を抜いて、もう1度つないでください。</li> <li>• INPUT SELECTスイッチが[HDV/DV]以外に設定されている。<br/>→[HDV/DV]に切り換えてください。</li> <li>→[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を正しく設定してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 再生時に音声途切れる。                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• テープに傷がある。<br/>→カセットを交換してください。</li> <li>• ビデオヘッドが汚れている。<br/>→付属のクリーニングカセットできれいにしてください。</li> <li>• DV（LPモード）で記録されたテープを再生している。<br/>→本機はHDV、DVCAM、DV（SPモード）にのみ対応しています。DV（LPモード）で記録されたテープは再生できません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 日付サーチやインデックスサーチができない。                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• テープの初めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 記録開始まで巻き戻しても、タイムコードが00:00:00:00にならない。                                                                         | →記録開始付近のタイムコードは正しく表示されませんが、故障ではありません。再生を開始すれば、開始点からタイムコードも画像も正しく表示されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 日時表示に「— — —」が表示される。<br>(29ページ)                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日付・時刻を設定しないで録画したテープを再生している。<br/>→日付・時刻を設定してください。</li> <li>• テープの無記録部分を再生している。</li> <li>• テープに傷やノイズがあると、データコードを読めません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| テレビやモニターなどにつないで再生するとき、コンポーネントビデオケーブルを正しく接続しているのに、画像や音声が出ない。                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>→接続する機器に合わせて、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[COMPONENT]を正しく設定してください。</li> <li>• COMPONENT OUT端子からは音声は出力されません。<br/>→音声ケーブルも合わせてつないでください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>→COMPONENT OUT端子から出力するときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[COMPONENT]と[DOWN CONVERT]を正しく設定して、再生してください。</li> <li> HDV/DV端子で出力するときは、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]と[DOWN CONVERT]を正しく設定して、再生してください。</li> <li>S VIDEO端子、VIDEO端子から出力するときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]を正しく設定して、再生してください。</li> <li>→ワイドで記録されたDVCAM（DV）テープは正しく表示されません。ワイド対応のモニターをご利用ください。</li> </ul> |



| 症状                                                                             | 原因/対策                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]を[EXTERNAL]に設定したのに、i.LINK入力している信号のタイムコードが記録されない。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルノンリニア編集機のi.LINK出力信号にタイムコードが出力されていない。<br/>→ご使用の編集ソフトウェアがタイムコード出力に対応しているかどうか確認してください。</li> <li>INPUT SELECTスイッチが[HDV/DV]に設定されていない。<br/>→[HDV/DV]に設定してください。</li> </ul>                                   |
| 1/10 スロー再生および1/10 スロー再生を1分以上続けると、再生モードになる。                                     | →テープを保護するため、1/10 スロー再生および1/10 再生が1分以上続けると再生モードになります。1/3 スロー再生または1/3 スロー再生にしてください。                                                                                                                                                                |
| 再生一時停止状態が解除され、本機がSTOPする。                                                       | →テープを保護するため、一定時間がたつと本機を停止する設定になっています。[VTR SET]メニューの[FROM STILL]を[STEP FORWARD]に設定してください。ただしこの場合は、[STILL TIME]で設定した時間ごとに、正方向に送られます。                                                                                                               |
| 再生一時停止状態が解除され、一定時間ごとにコマ送りされる。                                                  | →テープを保護するため、一定時間がたつと正方向に送られる設定になっています。[VTR SET]メニューの[FROM STILL]を[STOP]に設定してください。ただしこの場合は、[STILL TIME]で設定した時間がたつとSTOP状態になります。                                                                                                                    |
| 記録一時停止状態が自動的に解除される。                                                            | →テープおよびヘッドを保護するため、これらの状態が約3分続けると、自動的にSTOP状態になります。記録一時停止状態を継続したい場合は、[VTR SET]メニューの[FROM REC P]で[REC PAUSE]を選んでください (50 ページ)。                                                                                                                      |
| テープトップまでテープを巻き戻すと、再生してしまう。                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>[VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]が[ON]に設定されている。<br/>→[AUTO REPEAT]を[OFF]に設定してください。</li> <li>REW ボタンを押しながらPLAY ボタンを押した。<br/>→REW ボタンを押しながらPLAY ボタンを押すと、テープトップまで巻き戻した後に再生を開始します (13 ページ)。</li> </ul>              |
| 再生中に、テープの途中で巻き戻ってしまう。                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>[VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]が[ON]に設定されている。<br/>→[AUTO REPEAT]を[ON]に設定している場合、再生中にインデックス信号や無記録部分を検出すると自動的にテープが巻き戻されます。メニューを[OFF]に設定してください。</li> </ul>                                                        |
| テープエンドになると、テープが巻き戻ってしまう。                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>[VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]が[ON]に設定されている。<br/>→[AUTO REPEAT]を[ON]に設定している場合、テープエンドを検出すると自動的にテープが巻き戻されます。メニューを[OFF]に設定してください。</li> </ul>                                                                    |
| OUTPUT 端子のAUDIO 端子から音が出ない。                                                     | →オーディオモードが32 kHz (4 チャンネル) のテープを再生するときは、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MIX]で出力したい音声のチャンネルに合わせてください。                                                                                                                                                      |
| 操作していないのに、ひとりでに再生される。                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>[VTR SET]メニューの[AUTO REPEAT]が[ON]に設定されている。<br/>→[AUTO REPEAT]を[OFF]に設定してください。</li> <li>[OTHERS]メニューの[COMMANDER]が[WIRELESS]に設定されている場合、本機はリモコンによる操作に反応します。<br/>→[COMMANDER]を[CONTROL S]に設定してください。</li> </ul> |
| デジタルノンリニア編集システムで本機が動作しない。機能が働かない。                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>INPUT SELECT スイッチがHDV/DV 以外に設定されている。<br/>→HDV/DV に設定してください。</li> <li>編集機や編集ソフトウェアの機能が本機に対応していない。<br/>→編集機および編集ソフトウェアの取扱説明書を確認のうえ、編集機および編集ソフトウェアのメーカーに確認してください。</li> </ul>                                 |
| i.LINK ケーブルを接続しているのに外部機器の映像が映らない。                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>i.LINK ケーブルを抜いて、もう一度まっすぐつなぎ直してください。</li> <li>INPUT SELECT スイッチがHDV/DV 以外に設定されている。<br/>→HDV/DV に設定してください。</li> </ul>                                                                                       |

(続く)

| 症状                                         | 原因/対策                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ビデオケーブルを正しくつないでいるのに画像が出ない。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[COMPONENT]の設定によっては出力に制限があります。詳しくは16、45ページをご覧ください。</li> <li>• INPUT SELECT スイッチの設定が接続ケーブルと合っていない。<br/>→INPUT SELECT スイッチを接続ケーブルに合わせてS VIDEOまたはVIDEOに設定してください。</li> </ul> |
| テレビやモニターなどにつないで再生するときに、画像の色が抜けたり画像が乱れたりする。 | <p>→本機の[60i/50i SEL]のフォーマットにあったテレビやモニターとつないでください。</p> <p>→テープのフォーマットに合わせて[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]を設定してください(53ページ)。</p>                                                                                                                       |
| 画面上に2/2-STが表示される。                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 他機で4CHマイク記録されたテープを再生しているときに表示されます。本機は4CHマイク記録には対応していません。(DVCAMまたはDV (SP)フォーマットでの4CHマイク記録テープ再生時に表示されます。HDVフォーマットの4CHマイク記録テープ再生時には表示されません。)</li> </ul>                                                  |

## 録画について

| 症状                                                                                                                                   | 原因/対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  HDV/DV端子を使ってつないだ他機の画像が映らない。                       | <p>→i.LINKケーブル(別売)を抜いて、もう1度つないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• INPUT SELECT スイッチがHDV/DV以外に設定されている。<br/>→HDV/DVに切り換えてください。</li> <li>→[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を正しく設定してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                   |
| AUDIO INPUT LEVELスイッチの設定について <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入力レベルの設定がわからない。</li> <li>• 音が小さい。</li> <li>• 音がひずむ。</li> </ul> | <p>再生機側の出力レベルを確認してください(再生機の出力レベルについては再生機に付属の取扱説明書をご覧ください)。</p> <p>再生機側の出力レベルがわからない場合は、以下の方法をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [AUDIO SET]メニューの[AUDIO AGC]を[OFF]にして[AUDIO REC LV]で[0 dB]を選択してから再生機に再生用テープを入れ、最大音声再生時に入力レベルが0 dBを越えないことを確認する。0 dBを越える場合は、[AUDIO REC LV]の設定を[-6 dB]にする。音が小さい場合は[AUDIO REC LV]の設定を[+6 dB]にする。入力レベルが0 dBを越えると音がひずみます。本機に入力可能な最大レベルについては48ページをご覧ください。</li> </ul> |
| OUTPUT端子のAUDIO端子から音が出ない。                                                                                                             | <p>→オーディオモードが32 kHz (4チャンネル) のときは、[AUDIO SET]メニューで[AUDIO MIX]を[CH1、CH2]に設定してください。本機ではオーディオモードが32 kHz (4チャンネル) のときは、チャンネル1/2に音声記録されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 編集時、i.LINKケーブルを接続しているのに、モニターに画像が出ない。                                                                                                 | <p>→接続する機器に合わせて、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を正しく設定してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| EE音が出ない。                                                                                                                             | <p>→オーディオモードが32 kHz (4チャンネル) のときは[AUDIO MIX]メニューで[CH1、CH2]または[MIX]を選択してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| EE画とEE音が出ない。                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [IN/OUT REC]メニューの[EE/PB SEL]が[PB]に設定されている。<br/>→[EE]に設定してください。</li> <li>• INPUT SELECT スイッチが、入力している信号以外の位置に設定されている。<br/>→入力している信号に合わせて設定してください。</li> <li>• アナログ入力時で、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]設定が入力信号のフォーマットに合っていない。<br/>→入力している信号に合わせてメニューを切り換えてください。</li> </ul>                                                                                                     |

# 警告表示とお知らせメッセージ

## 自己診断表示・警告表示

外部モニターに、以下のように警告表示されることがあります。詳しい説明は、( ) 内のページをご覧ください。

| 表示                                                                                                      | 原因と対処のしかた                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| C:□□:□□/E:□□:□□<br>(自己診断表示)                                                                             | お客様自身で対応できる場合でも2、3回繰り返して正常に戻らないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。<br><br><b>C:21:□□</b><br>→ 結露しているため。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す (63 ページ)。<br><br><b>C:22:□□</b><br>→ ビデオヘッドが汚れているため。クリーニングカセットできれいにする (61 ページ)。<br><br><b>C:31:□□/C:32:□□</b><br>→ 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください (63 ページ)。<br>→ 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。<br>→ テープを交換する。 |
|  (結露の警告) *             | → カセットを取り出し、電源をはずして、カセットぶたを開けたまま、約1時間放置する (63 ページ)。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|  (テープ関連の警告)          | <b>遅い点滅</b> <ul style="list-style-type: none"><li>テープ残量が5分を切った。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|  (テープを取り出す必要がある警告) * | <b>速い点滅</b> <ul style="list-style-type: none"><li>結露している (63 ページ)。</li><li>自己診断表示が表示されている (59 ページ)。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                         |

\* 警告表示・お知らせメッセージが出るときは、CAUTION インジケーターが点滅します (13 ページ)。

## お知らせメッセージ一覧

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。

| 項目       | 表示                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 原因と対処のしかた                                     |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 結露       |   Moisture condensation. Eject the cassette.<br>(   結露しています カセットを取り出してください)                | → 詳しくは 63 ページをご覧ください。                         |
|          |  Moisture condensation. Turn off for 1H.<br>(  結露しています 約1時間放置してください)                                                                                                                                                                                         | → 詳しくは 63 ページをご覧ください。                         |
| カセット・テープ |   Insert a cassette.<br>(  カセットを入れてください)                                                                                                                                    | → 詳しくは 23 ページをご覧ください。                         |
|          |  Reinsert the cassette.<br>(  カセットを入れなおしてください)                                                                                                                                                                                                               | • テープの損傷などがないか確認する。                           |
|          |   The tape is locked - check the tab.<br>(   カセットの誤消去防止ツマミを確認してください)                       | → 詳しくは 22 ページをご覧ください。                         |
|          |  The tape has reached the end.<br>(  テープが終わっています)                                                                                                                                                                                                            | —                                             |
| その他      | Cannot record due to copyright protection.<br>(コピープロテクトされています 記録できません)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | —                                             |
|          | Change to correct tape format.<br>(非対応のフォーマットです)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | • 対応していないフォーマットのため、再生できません。                   |
|          | No output image in “HDV/DV SEL”. Change format.<br>(この HDV/DV SEL の設定では表示できない信号です。表示するには設定を変更してください)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | [HDV/DV SEL] の設定を適切なフォーマットに変更してください (45 ページ)。 |
|          |   Dirty video head. Use a cleaning cassette.<br>(   ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください) | → 詳しくは 61 ページをご覧ください。                         |
|          | Unplug power cable.<br>(電源コードを一度抜いてください)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | —                                             |
|          | Reinsert the cassette.<br>(カセットを入れなおしてください)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | —                                             |
|          | Invalid input signal.<br>(非対応の入力信号です)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 本機で受信できない入力信号です。入力信号を確認してください。                |
|          | Power voltage error.<br>(電源電圧が異常です)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | —                                             |

# 本機の性能を保持するために

## VTRについて

**直射日光の当たる場所や、熱器具の近くに置かない**  
キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

**湿気の多い場所に置かない**

水滴のかかる場所など、湿気の多い場所に置かないでください。また、水の入った物や花瓶などを本機の上に載せないでください。故障の原因になります。

**異常に高温な場所に置かない**

窓を閉め切った自動車内（特に夏期）などに放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因になります。

**寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだとき**

本体の内部に水滴が付くことがあります。このまま使うとテープやヘッドを傷める原因となることがあります。また、エアコンなどの冷風が直接当たる場所で使うと、同様のことが起こりますのでご注意ください。

**重い物を載せない**

キャビネットを傷めたり、故障の原因になったりします。

**ぶつけないように**

持ち運ぶときは衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

**キャビネットを傷めないために**

表面にはプラスチックが多く使われています。殺虫剤など、揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげたりする原因になります。

**ベンジンやシンナーでふかない**

変質したり、塗料がはげたりすることがありますので避けてください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

**キャビネットは乾いた柔らかい布で**

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。

**磁石を近づけない**

磁気を帯びているものを近づけると、大切な記録が損なわれることがあります。

**携帯電話・トランシーバーなどによる電磁波障害を防止するために**

携帯電話やトランシーバーなどを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。携帯電話やトランシーバーなどの取り扱いに際しては、下記のようにご注意ください。

- 本機の近くでは、携帯電話やトランシーバーの電源はできるだけ切ってください。
- PHSやポケットベルは、出力が小さいので携帯電話ほどの影響はないと考えられますが、性能の安定を確保するため、同様にできるだけ電源を切ってください。

**放射線のある場所で使わない**

誤動作することがあります。

**約1000時間のご使用を目安に点検を**

ビデオは非常に高い精度を必要とする機械です。長く使う間には、ヘッドやテープの駆動部分が汚れたり磨耗したりします。使用環境（温度、湿度、ほこりなど）によって異なりますが、約1000時間使ったら、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店に点検（清掃、注油、一部部品交換）についてご相談ください。

**他機との接続について**

i.LINKケーブルなどで本機と他の機器やパソコンなどをつなぐ場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

## ヘッドのクリーニング

ビデオヘッドが汚れると、正常に記録できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。付属のクリーニングカセットを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

**大切な記録の前にはクリーニングを**

ビデオヘッドが汚れていると、正常な記録が行えなくなり、画面にノイズが出たり、音が途切れたりすることがあります。大切な記録の前にはクリーニングを行ってください。

**約50時間のご使用を目安にクリーニングを**

ビデオを使用すると、ビデオヘッドには微量な汚れが徐々に堆積します。約50時間使用したら、クリーニングを行ってください。

### ビデオヘッドの汚れやすいテープを使用後にはクリーニングを

テープによってはビデオヘッドの汚れやすいものがあります。特に、ヘッド汚れの症状が出たテープを使用した後はクリーニングを行ってください。

#### ヘッド汚れの症状が出たときには

定期的にクリーニングを行っても、偶発的にヘッド汚れの症状が起ることがあります。次のような症状になったときは、クリーニングを行ってください。

- 再生画像に四角いノイズが出る
- 再生画像が静止する
- 再生画像の一部が動かない
- 再生画像が出ない
- 再生音声途切れ
- 録画中に「 Dirty video head. Use a cleaning cassette. (ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください)」が表示される

#### ビデオヘッドが汚れているときの画像

##### 正常な画像



##### HDVの場合



再生画像が一時停止する



再生画像が消える

##### DV/DVCAMの場合



再生画像が消える

#### クリーニングするには

クリーニングカセットを10秒間再生して、ビデオヘッドをきれいにしてください。

※ クリーニングカセットを使用しても再生画像が静止したり、上記の症状が改善されないときは、テープに問題がある可能性がありますので、そのテープのご使用を避けてください。

詳しくはクリーニングカセットの説明書をよくお読みになり、その手順に従ってください。

### ご注意

次のような使い方をすると、ビデオヘッドが汚れる原因になります。

- ー 温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使用したとき  
→ 結露が起きます。詳しくは63ページをご覧ください。
- ー 傷んだテープを使用したとき
- ー 本機を長時間使用したとき
- ー ほこり、チリ、砂ほこりの多いところで使用したとき
- ー テープを本機に長い間入れたままにしたとき

クリーニングカセットを巻き戻して使用できる回数には制限があります。付属のクリーニングカセットを規定回数使い終わったときは、別売のクリーニングカセットをお買い求めください。

長時間使用するとビデオヘッドは摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像や音声に戻らないときは、ヘッドが摩耗している可能性があります。ヘッドの交換が必要になりますのでソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

## カセットについて

下記のようなテープを使うと故障の原因になりますので、ご注意ください。



カビのはえたテープ



汚れたテープ



つないだテープ



ラベルはがれ



分解したもの



たるんだテープ

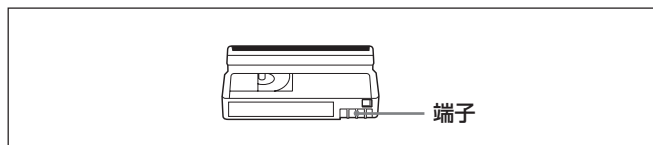
#### カセット使用について

- 初めて使用するカセットを使うときは、まず5秒ぐらいテープを走行させてから記録することをおすすめします。
- 長期間保管したカセットを使うときは、しばらくテープを早送りしてから巻き戻しをすることをおすすめします。カセットの巻きムラを修正できます。
- テープを走行させずに、本機に何度も出し入れしないでください。テープが緩み、傷の原因になります。



## 端子のクリーニング

カセットの金メッキ端子が汚れたりゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく働かないことがあります。カセットの取り出し回数10数回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



## カセットにラベルを貼るときは

指定の場所以外には、絶対に貼らないでください。故障の原因となります。

## カセットの保管について

- ご使用後はテープを巻き戻し、ケースに入れ、立てて保管してください。巻き戻さずに保管すると画像や音声がかかる原因になります。
- 次のような場所では保管しないでください。
  - 高温になる場所（炎天下や自動車内、熱器具の近く）
  - 湿気の多い場所
  - 強力な磁気のある場所（テレビやスピーカーの近く）

## 結露について

温度差のある場所へ本機やカセットを急に持ち込んだときにテープや本機のヘッドに水滴が付くことを結露といいます。結露したテープやヘッドを使用すると、テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になったりします。

結露が起これば、「 Moisture condensation. Eject the cassette ( 結露していますカセットを取り出してください)」または「 Moisture condensation. Turn off for 1H. ( 結露しています約1時間放置してください)」と警告表示が出ます。

結露が起きやすいのは以下のような場合です。

- 寒い屋外から暖房のきいた室内へ持ち込んだとき
- 冷房のきいた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所で使用するとき

本機やカセットを温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に入れて密封してください。持ち込んだ後は、1時間以上放置し、持ち込んだ先の温度になじんでから開封してください。

## 結露が起きると

カセットを直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、EJECTボタン以外は働きません。

電源を切って、カセットぶたを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押してもやが点滅しなければ使えます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットぶたを閉めないでください。

## デジタル時間計による定期点検

デジタル時間計は、本機の通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、アンスレディング回数をそれぞれ累計して、メニュー画面に表示します。定期点検の目安として、この時間計をご利用ください。なお、定期点検は、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

[OTHERS]メニューの[HOURS METER]で、以下の4種類の値を確認できます。メニューの使いかたについては、53ページをご覧ください。

### ● OPERATION（通電時間）表示

電源を入れていた通電時間を累計して、10時間単位で表示します。

### ● DRUM RUN（ドラム回転時間）表示

テープのスレディングが完了した状態でヘッドドラムが回転している時間を累計して、10時間単位で表示します。

### ● TAPE RUN（テープ走行時間）表示

テープの走行時間を累計して、10時間単位で表示します。

### ● THREADING（スレディング）表示

テープのアンスレディング回数を累積して、10回単位で表示します。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。この場合は充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

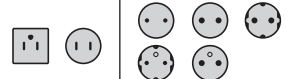
約24時間、本機をACアダプターを使ってコンセントにつなぐ（電源をONにする必要はありません）。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。  
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100 V～240 V・50/60 Hz）で使えます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。  
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

|                |                                                                                              |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 壁のコンセントの形状例    |           |
|                | 主に北米<br>主にヨーロッパなど                                                                            |
| 使用する変換プラグアダプター | 不要です。<br> |

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

第5章 保守・点検



# 付録

## HDV/DVCAM/DVフォーマットの互換性

HDVフォーマットは、現在全世界で普及している民生用デジタルVCR規格のDVフォーマットをベースとしながら、MPEG2で圧縮されたHD信号のデータ記録仕様を新たに定めたHD VCR規格です。DV規格と同じカセットやテープスピード、トラックピッチが採用されています。

ここでは、HDV1080i/DVCAM/DVフォーマットの違い、互換性、編集時の制約事項を説明しています。

### HDV1080i/DVCAM/DVフォーマットの主な違い

(本機および他の業務用の機器においては、機能が拡張されている場合があります。表外の注釈をご覧ください。)

| 仕様                       | HDV1080i                                                  | DVCAM                                                                                       | DV (SP)                                                            |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| トラック幅                    | 10 μm                                                     | 15 μm                                                                                       | 10 μm                                                              |
| オーディオサンプリング周波数           | 16 bit : 48 kHz                                           | 12 bit : 32 kHz<br>16 bit : 48 kHz                                                          | 12 bit : 32 kHz<br>16 bit : 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz <sup>2)</sup> |
| オーディオ記録モード <sup>1)</sup> | ロックモード                                                    | ロックモード                                                                                      | アンロックモード <sup>3)</sup>                                             |
| タイムコード                   | ドロップフレーム (60iのみ) <sup>4)</sup><br>ユーザービットなし <sup>5)</sup> | NTSC : SMPTEタイムコード (DF/<br>NDF, ユーザービットあり)<br>PAL : EBUタイムコード (ユーザー<br>ビットあり) <sup>5)</sup> | ドロップフレーム (NTSCのみ) <sup>4)</sup><br>ユーザービットなし <sup>5)</sup>         |

1) オーディオ信号の記録には、ロックモードとアンロックモードがあります。ロックモードでは、オーディオのサンプリングクロックとビデオのサンプリングクロックが同期しています。一方、民生用DVフォーマットで採用しているアンロックモードでは、オーディオとビデオのサンプリングクロックはそれぞれ独立しています。ロックモードはアンロックモードに比べ、上位フォーマットとの親和性が高く、オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有利です。

2) 本機は16 bit : 32 kHz、44.1 kHzの記録には対応していません。

3) 本機はロックモードとアンロックモードの切り換えができるように機能拡張されております。

4) 本機は60iモードでHDV時、DV (SP) 時にもDF/NDF設定できるように機能拡張されております。

5) 本機はユーザービットの設定はできません。(一部の機器では、ユーザービットを設定することができるものもあります。)

再生時の互換性

再生テープのフォーマットと再生機の関係は以下のようになっています。

| 再生機<br>再生テープの<br>フォーマット | DVフォーマットの機種                             | DVCAMフォーマットの機種                                  | HDV1080iフォーマットの機種<br>(本機の場合)                                                      |
|-------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| DV                      | 再生可<br>(LPモードで記録されたテープは一部の機器では再生できません。) | SPモードで記録されたテープのみ再生可<br>LPモードで記録されたテープは一部の機器で再生可 | SPモードで記録されたテープのみ再生可<br>LPモードで記録されたテープは一部の機器で再生可(本機では、DVフォーマットのテープはSPモードのみ再生できます。) |
| DVCAM                   | 機種によっては再生できる場合があります。                    | 再生可                                             | 再生可                                                                               |
| HDV                     | 再生不可                                    | 再生不可                                            | 再生可*                                                                              |

\* 本機では、HDV 720/30p フォーマットを再生できますが、 HDV/DV端子から出力することはできません。  
本機ではHDVフォーマットの1080/30F、1080/25F、1080/24F、720/25p、720/24pなどの1080/60i、1080/50i方式以外の信号の入出力、記録、テープの再生はできません。  
本機ではHDV拡張フォーマットの4チャンネルオーディオ信号の入出力、記録、テープの再生はできません。

カセットの互換性

HDVはDV規格のカセットテープが使用可能です。HVR-M15Jで採用したHDV1080i方式は、記録ビットレートは約25 Mbps、テープ上の記録トラックピッチは10 μmと、家庭用DV (SP) と同じです。テープに記録できる時間もDV (SP) と同じです。  
DVCAMはトラックピッチが15 μmと、HDV/DV (SP) の1.5倍となっています。そのため、同じテープを用いてDVCAMで記録した場合の記録時間は、HDV/DV (SP) 記録時の時間の3分の2になります。

## S VIDEO、VIDEO端子を使用したダビング

S VIDEO、VIDEO端子で接続した本機と他の機器間でダビングを行うと、本機を録画機として使用した場合は、[IN/OUT REC]メニューの[REC MODE]の設定によって、記録されるフォーマットが決まります。

詳細は、下記の一覧表をご確認ください。

ダビングのしかたによっては、そのテープを使つての再生、編集性に制約が生じることがあります。あらかじめ「第3章 ダビング・編集」をお読みになったうえで、ダビングを行ってください。

編集ソフトウェアによっては、[LOCK MODE]で作成したテープでも正しく編集できる場合があります。その場合は、必要に応じて[LOCK MODE]に設定してください。

### 本機を録画機として使用した場合の記録テープ

| 入力信号フォーマット | メニュー項目   |             | 記録テープのフォーマット (AUDIO MODE) |
|------------|----------|-------------|---------------------------|
|            | REC MODE | AUDIO LOCK  |                           |
| NTSCまたはPAL | DVCAM    | —           | DVCAM (LOCK MODE)         |
|            | DV SP    | LOCK MODE   | DV (LOCK MODE)            |
|            |          | UNLOCK MODE | DV (UNLOCK MODE)          |



i HDV/DV端子を使用したダビング

i.LINKケーブルを使用して接続したデジタルビデオ機器間でダビングを行うと、本機を再生機として使用した場合は、再生テープのフォーマットと本機のメニュー設定によって、i HDV/DV端子から出力されるフォーマットが決まります。録画機として使用した場合は、i HDV/DV端子から入力されるフォーマットと本機のメニュー設定によって、記録されるテープのフォーマットが決まります。詳細は、69ページの一覧表をご確認ください。

ダビングのしかたによっては、そのテープを使つての再生、編集性に制約が生じることがあります。あらかじめ「第3章 ダビング・編集」をお読みになったうえで、ダビングを行ってください。

本機を再生機として使用した場合のi.LINK出力

| 再生テープのフォーマット | メニュー項目     |             | i.LINK出力フォーマット (AUDIO MODE) |
|--------------|------------|-------------|-----------------------------|
|              | HDV/DV SEL | i.LINK SET  |                             |
|              |            | HDV→DV CONV |                             |
| HDV          | AUTO       | OFF         | HDV (LOCK MODE)             |
|              |            | DVCAM       | DVCAM (LOCK MODE)           |
|              |            | DV (SP)     | DV (UNLOCK MODE)            |
|              | HDV        | OFF         | HDV (LOCK MODE)             |
|              |            | DVCAM       | DVCAM (LOCK MODE)           |
|              |            | DV (SP)     | DV (UNLOCK MODE)            |
|              | DV         | —           | 出力なし                        |
| DVCAM        | AUTO       | —           | DVCAM (再生テープに従う)            |
|              | HDV        | —           | 出力なし                        |
|              | DV         | —           | DVCAM (再生テープに従う)            |
| DV           | AUTO       | —           | DV (再生テープに従う)               |
|              | HDV        | —           | 出力なし                        |
|              | DV         | —           | DV (再生テープに従う)               |

ご注意

- 本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合は、他機をつないで本機の画像を記録するときに、記録が制限されることがあります。
- 本機では、DVCAM (DV)をHDVにアップコンバートすることはできません。
- HDV再生時に[i.LINK SET]の[HDV→DV CONV]で[DV SP]を選択すると、AUDIO MODEはUNLOCK MODEに固定されます。
- 本機でDVCAM、DVフォーマットのテープを再生する場合、DVCAM、DVフォーマットおよびLOCK MODE、UNLOCK MODEを相互に変換することはできません。

## 本機を録画機として使用した場合の記録テープ

| i.LINK入力のフォーマット | メニュー項目     |                                                                                                          | 記録テープのフォーマット (AUDIO MODE) <sup>3)</sup> |
|-----------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
|                 | HDV/DV SEL |  REC MODE <sup>1)</sup> |                                         |
| HDV             | AUTO       | —                                                                                                        | HDV (LOCK MODE)                         |
|                 | HDV        | —                                                                                                        | HDV (LOCK MODE)                         |
|                 | DV         | —                                                                                                        | 無記録                                     |
| DVCAM           | AUTO       | DVCAM                                                                                                    | DVCAM (入力信号に従う)                         |
|                 |            | DV SP                                                                                                    | DV (入力信号に従う)                            |
|                 | HDV        | —                                                                                                        | 無記録                                     |
|                 | DV         | DVCAM                                                                                                    | DVCAM (入力信号に従う)                         |
|                 |            | DV SP                                                                                                    | DV (入力信号に従う)                            |
| DV              | AUTO       | DVCAM                                                                                                    | DVCAM <sup>2)</sup> (入力信号に従う)           |
|                 |            | DV SP                                                                                                    | DV (入力信号に従う)                            |
|                 | HDV        | —                                                                                                        | 無記録                                     |
|                 | DV         | DVCAM                                                                                                    | DVCAM <sup>2)</sup> (入力信号に従う)           |
|                 |            | DV SP                                                                                                    | DV (入力信号に従う)                            |

- 1) 録画機として使用する場合、入力する信号フォーマットの種類がDVCAM/DVのときは[IN/OUT REC]メニューの REC MODE]の設定によって、記録するフォーマットが決まります。
- 2) 本機を「DVCAM機」として設定し、録画機側として使用して、DVフォーマットで記録されたテープをダビングすると、作成したテープの記録フォーマットはタイムコードの書式の一部分に不整合がある（ただし、特殊な場合を除き、編集精度に影響はありません）ようなDVCAMフォーマットとなります。
- 3) 本機でLOCK MODE、UNLOCK MODEを相互に変換することはできません。AUDIO MODEは入力信号に従います。

### ご注意

- 本機では、i.LINKに入力されたHDVフォーマットの信号をDVCAM (DV) にダウンコンバートして記録することはできません。
- 上記2) のようなテープを編集に使用すると、再生機、録画機のフォーマットにかかわらず、機能に制約を生じることがあります。
- DVCAMフォーマットのテープを他のDV機で再生した場合、機器によっては再生できますが、再生の内容は保証されません。したがって、再生テープに正しいDVCAMフォーマットのテープを使用している、ダビングして作成されるテープはタイムコードの一部に不整合な箇所があるDVCAMフォーマットのテープとなる場合があります。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像、音声は本機では記録することができません。このような映像、音声を記録しようとすると、本機と接続した外部モニターに「Cannot record due to copyright protection. (コピープロテクトされています 記録できません)」と表示されます。COMPONENT OUT端子に出力される画像は、メニューの設定にかかわらず、自動的に480iもしくは576iに切り替わる場合があります。
- i.LINKに入力されたHDVフォーマットの信号を記録する場合、ユーザービットは再生テープの値がコピーされます。（本機はユーザービットの設定、表示機能を搭載していません。）

### 編集時の制約

- ❗ HDV/DV端子を使用してダビング・編集したテープを編集に使用するとき、フォーマットの違いにより制約が生じます。詳細は、「第3章 ダビング・編集」の「編集する（パソコンと接続する）」をご覧ください。

# i.LINK (アイリンク) について

本機のi.LINK端子はi.LINKに準拠した端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

## i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

## ご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV/DVCAM (DV) 対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK (アイリンク) はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

## i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100 (最大転送速度 約100 Mbps\*)

S200 (最大転送速度 約200 Mbps)

S400 (最大転送速度 約400 Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

\* Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100 Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

## 本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については33、37ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器(パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になれます。

なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機には対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DVCAM (DV) 対応の有無をご確認ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

## ご注意

- パソコン、本機にi.LINKケーブルをつなぐとき、端子の向きを確認してください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。i.LINKケーブルプラグの▲マークとi.LINK端子の▼マークの向きを合わせて差し込んでください。
- i.LINKケーブルは、先にパソコンとつないでから本機とつないでください。先に本機をつなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- 6ピン型のi.LINK端子を持つ機器と本機を接続する場合は、6ピン型のi.LINK端子から先に接続してください。
- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINKケーブルで接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままi.LINKケーブルを抜き差しすると、機器のi.LINK端子から出力している高圧電流(8～40 V)が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。

## 必要なi.LINKケーブル

ソニー製のi.LINKケーブルをお使いください。

i.LINK、i.LINKはソニー株式会社の商標です。

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお確かめください。特に、第5章「保守・点検」に該当する項目がないか、お調べください。

### それでも具合の悪いときはお問い合わせ窓口へ

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーのお問い合わせ窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

### 部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカセットレコーダー補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

## システム

ヘッドシステム（映像／音声、記録／再生）

回転2ヘッドヘリカルスキャン

録音方式（HDV） MPEG-1 Audio Layer2

16ビット48 kHz（ステレオ）

転送レート 384 kbps

録音方式（DVCAM（DV））

12ビットFs32K

（チャンネル1/2、チャンネル3/4）

16ビットFs48K（チャンネル1/2）

映像信号

1080/60i方式、NTSCカラー、EIA標準方式

1080/50i方式、PALカラー、CCIR標準方式

使用可能カセット **DVCAM** マークのついた標準DVCAMカセット

**DVCAM** マークのついたミニDVCAMカセット

テープ速度（HDV）

約18.812 mm/秒

テープ速度（DVCAM）

約28.218 mm/秒

テープ速度（DV） 約18.812 mm/秒

録画・再生時間（HDV）

276分（PHDV-276DM使用時）

63分（PHDVM-63DM使用時）

録画・再生時間（DVCAM）

184分（PHDV-276DM使用時）

41分（PHDVM-63DM使用時）

録画・再生時間（DV SP）

276分（PHDV-276DM使用時）

63分（PHDVM-63DM使用時）

## AUDIO端子

IN

ピンジャック：－10 dBu

インピーダンス：10 k $\Omega$ 以上、不平衡

最大入力レベル：

60i時：＋16 dBu（約5 Vrms）

50i時：＋14 dBu（約4 Vrms）

OUT

ピンジャック

インピーダンス：1 k $\Omega$ 以下

出力レベル：（47 k $\Omega$ 負荷時、不平衡）

60i時：－10 dBu（＝フルビット－20 dB）

50i時：－10 dBu（＝フルビット－18 dB）



## VIDEO端子

|        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| IN/OUT | ピンジャック、不平衡、                       |
| ビデオ信号  | 1.0 V <sub>p-p</sub> 、75 Ω、負同期    |
| 同期信号   | 0.286 V <sub>p-p</sub> (60i/NTSC) |
|        | 0.3 V <sub>p-p</sub> (50i/PAL)    |
| バースト   | 0.286 V <sub>p-p</sub> (60i/NTSC) |
|        | 0.3 V <sub>p-p</sub> (50i/PAL)    |

## S VIDEO端子

|        |                                                 |
|--------|-------------------------------------------------|
| IN/OUT | 4ピンミニDIN、不平衡                                    |
| ビデオ信号  | Y: 1.0 V <sub>p-p</sub> 、75 Ω、負同期               |
|        | C: 0.286 V <sub>p-p</sub> 、バースト、75 Ω (60i/NTSC) |
|        | 0.3 V <sub>p-p</sub> 、バースト、75 Ω (50i/PAL)       |
| 同期信号   | 0.286 V <sub>p-p</sub> (60i/NTSC)               |
|        | 0.3 V <sub>p-p</sub> (50i/PAL)                  |

## COMPONENT OUT端子

OUT      ピンジャック

480iNTSC 出力時

[IN/OUT REC]メニューにて[BETACAM]選択時

Y: 1.0 V<sub>p-p</sub>  
 (0.286 V<sub>p-p</sub> 負同期付き、75 Ω、不平衡)  
 Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y: 0.7 V<sub>p-p</sub>  
 (75 Ω、不平衡)  
 (7.5 IRE セットアップ付き 75% カラーバー時)

[IN/OUT REC]メニューにて[SMPTE]選択時

Y: 1.0 V<sub>p-p</sub>  
 (0.3 V<sub>p-p</sub> 負同期付き、75 Ω、不平衡)  
 Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y: 0.7 V<sub>p-p</sub>  
 (75 Ω、不平衡)  
 (セットアップなし 100% カラーバー時)

その他の出力の場合

Y: 1.0 V<sub>p-p</sub>  
 (75 Ω、不平衡)  
 Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y: 0.7 V<sub>p-p</sub>  
 (75 Ω、不平衡)  
 (セットアップなし 100% カラーバー時)  
 480i/480p は Y に 0.3 V<sub>p-p</sub> 負同期付き  
 1080i は Y/Pb/Pr に 0.6 V<sub>p-p</sub> の 3 値同期付き

## i HDV/DV端子

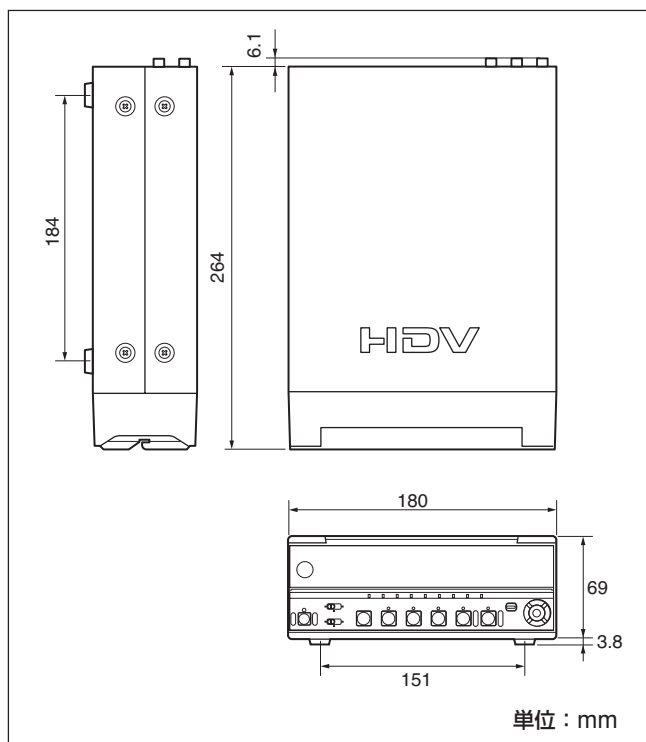
i.LINK (IEEE1394、4ピンコネクター S100)

## リモートコントロール端子

|              |                      |
|--------------|----------------------|
| LANC         | ステレオミニミニジャック (ø 2.5) |
| CONTROL S IN | ステレオミニジャック (ø 3.5)   |

## 電源部・その他

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| 電源電圧     | 8.4 V (DC IN 端子)      |
| 消費電力     | 8 W (再生時)             |
| 動作温度     | 5 °C ~ 40 °C          |
| 保存温度     | -20 °C ~ 60 °C        |
| 最大外形寸法   | 180 × 72.8 × 270.1 mm |
| (最大突起含む) | (幅/高さ/奥行き)            |



|      |                                                                                                                                    |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本体質量 | 約 2.3 kg                                                                                                                           |
| 付属品  | リモコン (1)<br>ACアダプター (1)<br>電源ケーブル (1)<br>スタンド (1)<br>単3形乾電池 (2)<br>クリーニングカセット (1)<br>取扱説明書 (1)<br>保証書 (1)<br>ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内 (1) |

## AC アダプター

|      |                      |
|------|----------------------|
| 電源   | AC100～240 V、50/60 Hz |
| 消費電流 | 0.35～0.18 A          |
| 消費電力 | 18 W                 |
| 定格出力 | DC8.4 V *            |
| 動作温度 | 0 °C～ 40 °C          |
| 保存温度 | －20 °C ～ ＋60 °C      |

\* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 五十音順

### あ

|                 |    |
|-----------------|----|
| 頭出し .....       | 30 |
| アンロックモード .....  | 65 |
| インデックスサーチ ..... | 30 |
| インデックス信号 .....  | 30 |
| オーディオモード .....  | 21 |

### か

|                  |    |
|------------------|----|
| カセット .....       | 22 |
| カセットメモリー .....   | 22 |
| カメラデータ .....     | 29 |
| 記録 .....         | 32 |
| クリーニングカセット ..... | 62 |
| 警告表示 .....       | 59 |
| 結露 .....         | 63 |
| コマ送り .....       | 29 |
| 困ったときは .....     | 54 |

### さ

|                 |    |
|-----------------|----|
| サーチ .....       | 30 |
| 時刻合わせ .....     | 52 |
| 自己診断表示 .....    | 59 |
| 使用できるカセット ..... | 22 |
| スロー再生 .....     | 29 |

### た

|               |    |
|---------------|----|
| タイムコード .....  | 20 |
| データコード .....  | 29 |
| テープ残量表示 ..... | 20 |

### は

|             |    |
|-------------|----|
| 日付サーチ ..... | 30 |
| 変速再生 .....  | 29 |

## ま

|                   |    |
|-------------------|----|
| ミニDVCAMカセット ..... | 22 |
| メニュー .....        | 20 |
| メニュー画面 .....      | 20 |
| 文字情報表示 .....      | 20 |

## ろ

|              |    |
|--------------|----|
| リモコン .....   | 18 |
| ロックモード ..... | 65 |

## アルファベット順

### D

|                       |    |
|-----------------------|----|
| DF (Drop Frame) ..... | 65 |
| DVカセット .....          | 22 |
| DVフォーマット .....        | 65 |
| DVCAMカセット .....       | 22 |
| DVCAMフォーマット .....     | 65 |

### E

|             |    |
|-------------|----|
| EEモード ..... | 12 |
|-------------|----|

### F

|            |    |
|------------|----|
| FS32K..... | 34 |
| FS48K..... | 34 |

### H

|                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| HDV/DV端子 .....  | 16, 27, 33, 37, 41 |
| HDVフォーマット ..... | 65                 |

### I

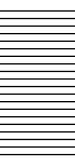
|              |    |
|--------------|----|
| i.LINK ..... | 70 |
|--------------|----|

### L

|              |    |
|--------------|----|
| LANC端子 ..... | 17 |
|--------------|----|

### N

|                            |    |
|----------------------------|----|
| NDF (Non Drop Frame) ..... | 65 |
|----------------------------|----|



# サブメニュー索引

## 数字

|                   |    |
|-------------------|----|
| 480i LEVEL .....  | 47 |
| 60i/50i SEL ..... | 53 |

## A

|                    |    |
|--------------------|----|
| AC ON MODE .....   | 53 |
| AUDIO AGC .....    | 48 |
| AUDIO LOCK .....   | 49 |
| AUDIO MIX .....    | 49 |
| AUDIO MODE .....   | 48 |
| AUDIO REC LV ..... | 48 |
| AUTO INDEX .....   | 49 |
| AUTO REPEAT .....  | 49 |

## B

|                 |    |
|-----------------|----|
| BARS TYPE ..... | 47 |
|-----------------|----|

## C

|                 |    |
|-----------------|----|
| CLOCK SET ..... | 52 |
| COLOR BAR ..... | 46 |
| COMMANDER ..... | 52 |

## D

|                    |    |
|--------------------|----|
| DATA CODE .....    | 47 |
| DATE DISPLAY ..... | 48 |
| DV BARS .....      | 47 |

## E

|                 |    |
|-----------------|----|
| EE/PB SEL ..... | 47 |
|-----------------|----|

## F

|                    |    |
|--------------------|----|
| FF/REW SPEED ..... | 50 |
| FROM REC P .....   | 50 |
| FROM STILL .....   | 50 |

## H

|                    |    |
|--------------------|----|
| HDV/DV IN TC ..... | 51 |
| HDV/DV SEL .....   | 45 |
| HOURS METER .....  | 53 |

## I

|                  |    |
|------------------|----|
| i.LINK SET ..... | 46 |
| INITIALIZE ..... | 53 |

## J

|                 |    |
|-----------------|----|
| JOG AUDIO ..... | 49 |
|-----------------|----|

## L

|                   |    |
|-------------------|----|
| LANGUAGE .....    | 52 |
| LETTER SIZE ..... | 47 |

## P

|              |    |
|--------------|----|
| PB CNR ..... | 52 |
| PB YNR ..... | 52 |

## R

|                 |    |
|-----------------|----|
| REC MODE .....  | 45 |
| REMAINING ..... | 48 |

## S

|                  |    |
|------------------|----|
| STILL PICT ..... | 49 |
| STILL TIME ..... | 50 |

## T

|                    |    |
|--------------------|----|
| TC FORMAT .....    | 51 |
| TC RESET .....     | 51 |
| TIME DISPLAY ..... | 48 |

## V

|                 |    |
|-----------------|----|
| VIDEO OUT ..... | 45 |
|-----------------|----|

お問い合わせは  
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、  
VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキ  
を使用しています。

Printed in Japan

